

新・マスタープラン事業評価管理シート

平成29年度評価結果

平成30年9月

新潟市水道局

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-1	水源水質の監視	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	同一の水源を利用する水道事業体や関係機関と連携し、情報共有体制の構築や河川の水質調査を行うことにより、浄水処理への影響を未然に防ぎます。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度		28年度		29年度	
	水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会(両水協)および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施する。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施する(365日24時間)。 ・水道原水の共同調査を実施する(信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査)。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視する。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査する。		水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会(両水協)および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施する。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施する(365日24時間)。 ・水道原水の共同調査を実施する(信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査)。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視する。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査する。		水源の監視・調査 ・信濃川・阿賀野川両水系水質協議会(両水協)および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施する。 ・灯油流出などの水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施する(365日24時間)。 ・水道原水の共同調査を実施する(信濃川及び阿賀野川から取水する県内事業体の取水地点のうちで代表的な地点の河川水質を調査)。 ・浄水施設での対応が困難な物質を監視する。特に、水質基準外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査する。	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	960,000			741,100			878,000		
	執行額(b)	931,400			741,100			878,000		
	執行率(%) (b) / (a)	97%			100%			100%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	144時間		120時間	120時間		120時間	120時間	
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	120%	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (月あたりの実働時間)	10時間	12時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・水質事故通報は例年油流出事故が多い。協議会の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 ・重油流出事故等の大規模な水質事故に際して適切に対応し、水道水への影響を防ぐことができました。	・県内13水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。平成27年度は両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 ・平成28年1月末より発生した阿賀野川水系の異常臭気の際し、両水協として河川水の臭気確認を強化しながら原因究明を進め、河川管理者等と連携し対応を進めました。本市においては、阿賀野川より取水する全ての浄水場において適切に粉末活性炭処理を行うことにより、違和感の無い水道水を供給しお客さまへの負の影響を回避しました。			・県内13水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。平成28年度は両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 ・両水協として平成28年11月に水質技術研修会を開催し、平成28年1月末に阿賀野川水系で発生した異常臭気に係る事業体の対応事例の紹介と水源水質事故に対する基本的な考え方に関して、協力頂いた国立保健医療科学院の先生より講演いただき、会員および関係者間で情報共有を図りました。			・県内13水道事業体を会員として構成される両水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。平成29年度は両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。 平成29年11月に水質技術研修会を実施し、流域連携や河川事故等の対応について情報交換を行い、水質監視体制に関する技術的知見について、会員間で共有を図りました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	水源の監視及び調査	2点			水源の監視及び調査	1点			水源の監視及び調査	1点		
	平均(A)	2.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	
河川水質事故による 水道水の影響	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	
	0	0	0	0%	100%	3点	0%	100%	3点	0%	100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)
水道原水の水質調査	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	2回	2回	2回	2回	100%	3点	2回	100%	3点	2回	100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)
浄水施設での対応が 困難な物質の監視	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	4回	4回	4回	4回	100%	3点	4回	100%	3点	4回	100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	本事業の活動予算については、両水協負担金として運営会費等を新潟県内13水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業であり、平成27年度予算については概ね予定通りの執行であったと評価しています。			本事業の活動予算については、両水協負担金として運営会費等を新潟県内13水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業です。平成28年度予算の執行状況については、総会に先立ち開催される幹事会において、概ね予定通りの執行であったと評価されました。			本事業の活動予算については、両水協負担金として運営会費等を新潟県内13水道事業体の有収水量に応じて案分された額が充てられています。共同調査、上流調査、技術研修会の開催など、同協議会の事業計画および年間予算については、両水協総会（毎年6月実施）で承認される事業です。平成29年度予算の執行状況については、総会に先立ち開催される幹事会において、概ね予定通りの執行であったと評価されました。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標を達成するために有効であったか評価する。	両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で年間100件以上発生している水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体のお客さまへの影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、水道水に影響するおそれのある臭気物質や未規制物質の調査結果より会員事業体の共益となる情報が得られました。なお、本市に直接影響する事案としては、本市取水地点の近くに発生した油流出事故については、主体的な情報収集と関係機関への確実な周知を行い浄水処理への影響を未然に防止できました。また、阿賀野川で発生した異常臭気対応については、関係機関と密接に連携しお客さまへの影響を防止し発生原因を特定することができました。			両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で年間100件以上発生している水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体のお客さまへの影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、水道水に影響するおそれのある臭気物質や未規制物質の調査結果より会員事業体の共益となる情報が得られました。また、幹事会や技術研修会等を通して、会員相互の連携がより強化され、本事業の目的である水源に内在するリスクの顕在化を未然に防止する取組みに対して十分な有効性があつたと評価できます。			両水協の活動を通して、信濃川水系および阿賀野川水系で年間100件以上発生している水質事故について、事故発生時の迅速な連絡通報と関係機関との情報共有に努めることにより、水系全体のお客さまへの影響を未然に防ぎました。加えて、年次計画にある共同調査や特別調査を実施し、水道水に影響するおそれのある臭気物質や未規制物質の調査結果より会員事業体の共益となる情報が得られました。また、幹事会や技術研修会等を通して、会員相互の連携がより強化され、本事業の目的である水源に内在するリスクの顕在化を未然に防止する取組みに対して十分な有効性があつたと評価できます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-2	水安全計画の充実・適切な運用	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	安全で良質な水道水を継続的に供給するために、水源からじゃ口までのすべての過程における一元的な水質管理を行う「水安全計画」を評価し、必要に応じて見直すことで計画の充実を図っていきます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度		28年度
	水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。		水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。
			水安全計画の運用・評価 ・PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、必要に応じて適宜見直しを行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	60時間	60時間	100%	60時間	60時間	100%	60時間	60時間	100%
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月		
	単位あたり の作業量(c/d)	5時間	5時間	(イ/ア)	5時間	5時間	(イ/ア)	5時間	5時間	(イ/ア)
	(ひと月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)		(ア)	(イ)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・平成22年に新潟市内のすべての浄水場における水安全計画を策定し運用しています。	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。 ・平成27年度は各浄水場別の水安全計画の見直しを行い、より実効性のある計画の改定を行いました。具体的には、各浄水場における管理基準値を見直し、異常時・緊急時対応マニュアルを最新のものに改めました。			・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。平成28年度については、昨年度設定した新たな管理基準値による運用の評価を行っています。 ・昨年度発生した異常臭気等、特異的な事故事例の対応状況を計画に反映させることで、より柔軟なものに改めました。			・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。平成29年度については、H27年度に設定した新たな管理基準値による運用の評価を行っています。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	水安全計画の評価・見直し		1点		水安全計画の評価・見直し		1点		水安全計画の評価・見直し		1点	
	平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
浄水場「水安全計画」 の 評価実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	3点	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。なお、水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。			水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。なお、水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。			水安全計画の評価については、平成21年度の策定以来、運用状況を振り返りながら適宜見直しを進めるPDCAサイクルを確実に推進しています。なお、水安全計画実施に際しては特別の予算は計上していません。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	新潟市内すべての浄水場において改定作業を行いました。今後とも水安全計画については適宜見直しを実施し、実効性のある内容に改める必要があります。			新潟市内すべての浄水場において改定作業を行いました。水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクの顕在化を未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。今後も、水安全計画については事故対応から得られた知見等から、適宜見直しを実施し実効性のある内容に改めます。			新潟市内すべての浄水場において改定作業を行いました。水安全計画を着実に実行することによって、水源から給水栓に至るまでのリスクの顕在化を未然に防止することができ、安全な水道水の安定供給が可能となっています。今後は、より実効性の高い計画となるよう、見直しを実施しています。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-3	水質管理体制の強化	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道GLP(水道水質検査優良試験所規範を維持し、水質検査結果の精度と信頼性を確保します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度		28年度
	水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画の策定、検査計画及び検査結果の公表。 ・試験方法等の調査研究の実施。 ・水道GLPの更新(4年毎)、サーベイランスの実施(更新中間期)。		水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。 ・水道GLPの更新(4年毎)、サーベイランスの実施(更新中間期)を行います。
	29年度		水道GLPの維持・更新 ・水質検査機器の計画的な更新と更新計画の見直しを行います。 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・水質検査計画を策定し、検査計画及び検査結果を公表します。 ・試験方法等の調査研究を実施します。 ・水道GLPの更新(4年毎)、サーベイランスの実施(更新中間期)を行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	80,858,650			71,790,840			64,140,250		
	執行額(b)	76,166,988			64,653,638			48,360,636		
	執行率(%) (b) / (a)	94%			90%			75%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間	120時間		120時間	120時間	
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%
	単位あたり の作業量(c/d)	10時間	10時間		10時間	10時間		10時間	10時間	
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・平成26年度に2度目の認定更新を行っており平成27年度は認定維持。 ・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しています。	・平成27年度はGLPサーベイランス(GLP認定委員会による定期的な立入監査)を実施しました。サーベイランスの結果としては、良好にGLPに基づいた水質検査が実施されていると評価を受けました。なお、サーベイランスの際に指摘された軽微な改善事項については、直ちに直し改善を行いました。 ・水質管理技術の継承については、平成26年度より課内ワーキンググループにより検討を行っています。平成27年度については、水質管理技術の分類と習得に係る目標年次を明らかにしました。また、水質管理技術を計画的に習得できるよう、OJT(On the Job Training)が確実に実施される環境整備を進めています。			・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しており、平成29年度には認定更新を予定しています。 ・水質管理技術の継承については、平成26年度より実施している理想的な水質管理体制構築に向けた取組みのなかで着実に実施しています。平成28年度については、OJT(On the Job Training)の確実な実施に効果が期待される業務ローテーションなどのこれまで実施した取組みについて評価を行い、より実効性の高い取組みとなるようブラッシュアップを行いました。あわせて、平成29年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた新たな管理計画を策定しました。			・平成29年度はGLP更新審査が実施されました。更新審査では、全体として信頼性向上への関心が高いと評価を受けました。 ・水質管理技術については、引き続きOJT(On the Job Training)の確実な実施に効果が期待される業務ローテーションなどのこれまで実施した取組みについて評価を行い、実態にあった体制となるよう努めました。あわせて、平成30年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた新たな管理計画を策定しました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	・水道GLPの維持・更新		1点		・水道GLPの維持・更新		1点		・水道GLPの維持・更新		1点	
	・人材育成及び技術継承	2点			・人材育成及び技術継承	2点			・人材育成及び技術継承	1点		
	平均(A)	1.5点			平均(A)	1.5点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	
検査機器の 保守点検実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)
教育訓練実施率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)
水質検査の公表回数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	12	12	12	12	100%	3点	12	100%	3点	12	100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> GLP認定維持に係る予算については当初計画通りに適切に施行され、また、その評価についても満足するものでした。 水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定維持に係る予算については当初計画通りに適切に施行され、また、その評価についても満足するものでした。 水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定維持に係る予算については当初計画通りに適切に施行され、また、その評価についても満足するものでした。 機器の状態を勘案し、修繕用備品の交換時期を見直すことで、当該費用が抑えることができたため、予算効率が向上しました。 水質管理における人材育成・技術の継承については、主にOJTにより進めていることから特別の予算は計上していません。 		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査レベルが一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について必要にして十分であると、第3者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実にすることは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 水質管理技術の継承については、OJTが確実に実施される環境は徐々に整備されつつあることから、一定の評価ができます。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査レベルが一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について必要にして十分であると、第3者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実にすることは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 水質管理技術の継承については、水質管理技術向上に寄与する取組みがブラッシュアップされ完成形に近づきつつあると評価しています。 			<ul style="list-style-type: none"> GLP認定を維持しているということは、本市の水質検査レベルが一定水準以上の技術力を確保し、その検査精度について必要にして十分であると、第3者機関により客観的に保証されるということです。水道水の安全性保証を確実にすることは、本市新・マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。 水質管理技術向上については、分析技術の計画的な習得を進め教育訓練を着実に実施することで、その成果を現場に反映できるよう努めています。 		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-4	新潟市独自の管理目標による水質管理	所管課	水質管理課(浄水課)
----	---	------------	--------	-----	-------------------	-----	------------

①事業概要

【事業の目的】	国が定める水質基準値等より厳しい、本市独自の「安全性とおいしさの基準」である管理目標値を設定し、より安全でおいしい水道水の供給に取り組んでいきます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	独自管理目標による水質管理 ・安全な水道水を提供するために、農薬類と総トリハロメタンについては、国が定める水質基準値等より厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・おいしい水道水を提供するために、残留塩素と臭気強度に関しては、国が定める目標値よりも厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	独自管理目標による水質管理 ・安全な水道水を提供するために、農薬類と総トリハロメタンについては、国が定める水質基準値等より厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・おいしい水道水を提供するために、残留塩素と臭気強度に関しては、国が定める目標値よりも厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。	独自管理目標による水質管理 ・安全な水道水を提供するために、農薬類と総トリハロメタンについては、国が定める水質基準値等より厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・おいしい水道水を提供するために、残留塩素と臭気強度に関しては、国が定める目標値よりも厳しい本市独自の管理目標値を定め、これを超えない管理を行います。 ・必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	55,528,200			55,728,000			29,581,200		
	執行額(b)	83,086,128			29,029,320			14,854,320		
	執行率(%) (b) / (a)	150%			52%			50%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月	12ヶ月		12ヶ月		
	単位あたりの 作業量(c/d)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)
(ひと月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(ア)		(イ)	(ア)		(イ)		

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・独自管理目標による水質管理、見直しを行いました。	・平成27年度については、1項目が目標達成率100%に達しませんでした。概ね目標を達成できました。なお、目標達成率100%に達しなかった臭気強度については浄水場との連携を強化することにより、平成28年度における目標達成率100%を目指します。			・平成28年度については、1項目が目標達成率に達しませんでした。概ね目標を達成できました。なお、目標達成率に達しなかった残塩管理については、各浄水場の給水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取組みについて、必要な施設整備を視野に入れた検討を行います。			・平成29年度については、全ての項目で目標を達成することができました。臭気強度管理においては、浄水場職員を対象とした臭気研修を行い浄水場出口での臭気確認体制の強化に努めることで、その効果を高めています。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	・独自管理目標による水質管理		1点		・独自管理目標による水質管理		1点		・独自管理目標による水質管理		1点	
	平均(A)		1.0点		平均(A)		1.0点		平均(A)		1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
農薬濃度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
総トリハロメタン濃度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	100%	100%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
残留塩素 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	91%	91%	91%	93%	102%	4点	90%	99%	3点	92%	101%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
臭気強度 管理目標達成率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	100%	100%	100%	96%	96%	3点	100%	100%	3点	100%	100%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、当初計画した目標値を概ね達成できました。なお、粉末活性炭処理については、通常処理へのプラスアルファの処理であることから活性炭添加量については調査研究を進め、効率的な注入率となるよう注入指針値を見直し、費用対効果が最大となるような水質管理に努める必要があります。</p> <p>・平成27年度の粉末活性炭の執行額については、阿賀野川異常臭気に伴い使用量が増加したものです。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、当初計画した目標値を概ね達成できました。調査研究は特別な予算を計上しておらず、業務に関連する項目について計画的に実施しています。なお、粉末活性炭処理については、調査結果から一定の知見が得られたことから、成果を实地へ活用する取組みを進めます。今後は引き続き調査を進めると共に、費用対効果の検証も行い、より適切な水質管理ができるよう努めます。</p> <p>・平成28年度の粉末活性炭の執行額については、当初予算より使用量及び、契約単価の大幅減によるものです。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給するために、浄水場と連携し粉末活性炭処理を実施することにより、当初計画した目標値を概ね達成できました。調査研究は特別な予算を計上しておらず、業務に関連する項目について計画的に実施しています。なお、粉末活性炭処理については、引き続き調査を進めると共に、費用対効果の検証も行い、より適切な水質管理ができるよう努めます。</p> <p>・H29年度予算執行率については、粉末活性炭予算執行額の大幅減によるものです。</p>		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みである。ただし、活性炭の注入率と注入手法については、浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を進めます。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を積極的に進めます。</p>			<p>・本市独自の管理目標値により、安全でおいしい水道水を供給する取組みは、本市マスタープランに掲げる「すべてのお客さまに信頼される水道」を目指すには不可欠の取組みです。ただし、活性炭の注入率と注入手法については浄水費の増加と関連することから、今後とも調査研究を積極的に進めます。</p>		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	I	水質管理の充実・強化	事業・取組名	I-5	分かりやすい水質情報の提供	所管課	水質管理課
----	---	------------	--------	-----	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	安全でおいしい水や災害時での水の安定供給など、多様化するお客さまのニーズに対し、水道水をおいしく飲める啓発活動やニーズにあった情報提供などを行い、水道水に対する信頼性を高めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	啓発活動の継続・充実 ・さわやかトーク宅配便やパンフレット配布などの啓発活動を継続して実施します。 ・小学生向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ・分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成する。水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	啓発活動の継続・充実 ・さわやかトーク宅配便やパンフレット配布などの啓発活動を継続して実施します。 ・小学生向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ・分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成する。水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。	啓発活動の継続・充実 ・さわやかトーク宅配便やパンフレット配布などの啓発活動を継続して実施します。 ・小学生向けプレゼンテーションのスキルアップを図ります。 ・分かりやすい情報提供 ・最新の情報やデータを盛り込んだパンフレット等を作成する。水質管理に関する情報提供のツールとしてインターネットを活用します。 ・小学生向け説明補助資料を充実させます。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	119,448			98,280			98,280		
	執行額(b)	85,428			85,428			85,428		
	執行率(%) (b) / (a)	72%			87%			87%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間		120時間	120時間		120時間	120時間	
	期間(d) (従事期間)	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (ひと月あたりの実働時間)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・水質保全に関するパンフレットを作成し見学者に配布するなどPRに活用しました。	・市政さわやかトーク宅配便(出前授業の一つ)時に使用するパワーポイントについて、イラストや写真等の多用したビジュアル的に分かりやすい構成となるよう改めた。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の解説ページを加えた。 ・広報人材育成室と連携し、水質管理センターへの市民見学の機会を増加し、「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」など体験型広報に接する機会を増やした。			・広報人材育成室と連携し、水質管理センターへの市民見学の機会が増えるよう努め、「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」など体験型広報に接する機会を増加させました。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の解説ページを充実させました。			・広報人材育成室と連携し、水質管理センターへの市民見学の機会が増えるよう努め、「簡易ろ過実験」「臭気検査」「きき水体験」など体験型広報を実施しました。 ・本市ホームページにおいて、マンガやイラストを活用した水質検査結果の公表に努めました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	・啓発活動の継続		1点		・啓発活動の継続		1点		・啓発活動の継続		1点	
	・分かりやすい情報提供		1点		・分かりやすい情報提供		1点		・分かりやすい情報提供		1点	
平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
さわやかトーク 宅配便等年間実施数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	10回	10回	12回	18回	180%	5点	14回	140%	5点	12回	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	10回	20回	32回	18回	180%	5点	32回	160%	5点	44回	138%	5点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・本事業についてはいずれも当初予定通りに実施されています。また、広報業務については、水道局広報人材育成室と連携することにより実施していることから、当課における予算措置は計上していません。			・本事業についてはいずれも当初予定通りに実施されています。また、広報業務については、水道局広報人材育成室と連携することにより実施しています。			・本事業についてはいずれも当初予定通りに実施されています。また、広報業務については、水道局広報人材育成室と連携することにより実施しています。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、多くのお客さまが漠然と抱えている水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することができるかと評価しています。今後とも当課における広報活動は拡充させていく必要があります。			・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、多くのお客さまが漠然と抱えている水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することができるかと評価しています。今後とも当課における広報活動は拡充させていく必要があります。			・広報の充実については、今後当局として取組んでいくべき重要課題です。水質管理に精通した職員が水道水の安全性を分かりやすく広報することにより、多くのお客さまが漠然と抱えている水質的な不安感を払拭し、本市新・マスタープランの理念を実現することができるかと評価しています。今後とも当課における広報活動は拡充させていく必要があります。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	5点	A	進捗度	5点	B
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。今後、どれだけ市民の皆様への理解を得ることができたか、成果を期待したい。また、浸透度や理解度についての評価手法等を検討すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。ただし、過去に指摘のあった通り、市民の皆様への情報の浸透度や理解度について、水道局自らが点検・評価する手法等を継続して検討すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-1	学校施設の水飲み水栓の直結給水化	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	じゃ口から水を飲むという水道の文化を引き継ぎ、次世代を担う子供たちが水道水のおいしさをより実感できるよう、小中学校の水飲み水栓の直結給水化に取り組みます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	<p>27年度</p> <p>新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。</p> <p>教育委員会との協議 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率:平成29年度に65%</p>	<p>28年度</p> <p>新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。</p> <p>教育委員会との協議 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率:平成29年度に65%</p>	<p>29年度</p> <p>新潟市学校施設整備指針に基づき、小中学校における大規模改修計画に併せ、教育委員会と連携し、水飲み水栓の直結給水化を促進していきます。</p> <p>教育委員会との協議 大規模改修計画に基づき協議を実施 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率:平成29年度に65%</p>

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b)/(a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (協議回数)	1回	1回	100%	1回	1回	100%	1回	1回	100%
	期間(d) (従事期間)	1年	1年		1年	1年		1年		
	単位あたりの 作業量(c/d)	1回/年	1回/年	(イ/ア)	1回/年	1回/年	(イ/ア)	1回/年	1回/年	(イ/ア)
(1年間の協議回数)	(ア)	(イ)	(ア)		(イ)	(ア)		(イ)		

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度								
	・学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 61.1%	<p>教育委員会との協議 協議実施回数 1回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入替等)で直結給水化が図られるか協議を行いました。財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。</p> <p>学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 63.7% 市立学校施設数 182校 直結化した学校数 116校</p>			<p>教育委員会との協議 協議実施回数 1回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入替等)で直結給水化が図られるか協議を行いました。財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。</p> <p>学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 63.7% 市立学校施設数 179校(閉校・統合により3校減) 直結化した学校数 114校(閉校・統合により2校減)</p>			<p>教育委員会との協議 協議実施回数 1回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入替等)で直結給水化が図られるか確認を行い、財政面から現在の計画に基づき進めることを確認しました。</p> <p>学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 65.7% 市立学校施設数 178校(閉校・統合により1校減) 直結化した学校数 117校</p>								
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~				
		教育委員会との協議実施		1点		教育委員会との協議実施		1点		教育委員会との協議実施		2点				
		平均(A)	1.0点			平均(A)			1.0点			平均(A)			2.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
学校施設の水飲み水 栓の直結給水化率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	61.1%	63.7%	65.0%	63.7%	104%	4点	63.7%	100%	3点	65.7%	101%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	61.1%	63.7%	65.7%	63.7%	104%	4点	63.7%	100%	3点	65.7%	100%	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	教育委員会との協議及び情報共有により実施予定校を確認しました。 その他施設に係る工事(水槽入替、修繕等)での、直結給水化の可否について検討を進めましたが、財政面から現在の計画に基づく実施を進めることを確認しました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。また、その他施設の工事(貯水槽入替、修繕等)に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、財政面から現在の計画に基づく実施を優先することを確認しました。本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。			教育委員会との協議及び情報共有を図り、今後の改修予定校を確認しました。また、その他施設の工事(貯水槽入替、修繕等)に合わせた、直結給水化について協議を進めましたが、財政面から現在の計画に基づく実施を優先することを確認しました。本取り組みについては、事業の性質上、予算計上及び執行はありません。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	4点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。学校施設の直結給水化は、大規模改修計画に基づき計画どおりに進捗しています。			平成28年度は、大規模改修計画による直結給水化はありませんでした。また、閉校・統合により3校が減少しましたが、直結給水化率に変動はありませんでした。 なお、小学校3校、中学校1校が改修工事中であり、平成29年度内に直結給水化予定であることを確認しています。			平成29年度は、閉校・統合により1校減となったものの、小学校3校、中学校1校の直結給水化が図られ、総じて3校の増加となりました。引き続き、教育委員会との協議及び情報共有を図り、双方共通の認識で取組を進めています。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	3点	C	進捗度	3点	B
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	水道局自体の努力だけでは難しいことは理解できるが、学校施設の直結給水化は、新潟の水を市民に届け、当たり前に使ってもらうためにも、引き続き、計画に沿った事業推進のため努力してもらいたい。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-2	貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	---------------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	貯水槽水道利用者へ安全でおいしい水道水が供給されるよう、訪問指導等の強化により、貯水槽の清掃率向上に向けた積極的な啓発活動を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	貯水槽清掃強化月間設定に向けた協議 貯水槽衛生管理における、さらなる清掃率向上を目的に衛生行政や民間清掃業者と連携し強化月間を設定し取組むこととします。 民間清掃業者との連携 強化月間の取組にあつては民間清掃業者との協力体制の確立に向けた協議を実施します。	貯水槽清掃強化月間設定に向けた協議 貯水槽衛生管理における、さらなる清掃率向上を目的に衛生行政や民間清掃業者と連携し強化月間を設定し取組むこととします。 民間清掃業者との連携 強化月間の取組にあつては民間清掃業者との協力体制の確立に向けた協議を実施します。 衛生管理指導業務の強化 未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託化し、指導実施件数を増やします。	貯水槽清掃強化月間設定に向けた協議 貯水槽衛生管理における、さらなる清掃率向上を目的に衛生行政や民間清掃業者と連携し強化月間を設定し取組むこととします。 民間清掃業者との連携 強化月間の取組にあつては民間清掃業者との協力体制の確立に向けた協議を実施します。 衛生管理訪問指導 未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を実施(委託)し、清掃実施件数を増やします。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	65,830			3,844,320			4,120,800		
	執行額(b)	44,198			3,837,288			4,025,254		
	執行率(%) (b) / (a)	67%			100%			97.7%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	0.3人	0.3人		0.3人	0.3人		0.3人	0.3人	
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年	1年	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (1年間の従事職員数)	0.3人/年 (ア)	0.3人/年 (イ)	(イ/ア)	0.3人/年 (ア)	0.3人/年 (イ)	(イ/ア)	0.3人/年 (ア)	0.3人/年 (イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	貯水槽清掃実施率 ・簡易専用水道 94.9% ・小規模貯水槽水道 67.1% ・全体清掃率 78.3%	貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議 平成27年度は強化月間の設定及び取組の具体化に向けた協議を行いました。しかし、衛生管理指導業務委託化の検討から、取組内容の調整が必要となり具体化には至りませんでした。平成28年度継続協議としています。 民間清掃業者との連携 衛生管理指導業務の取組内容を踏まえ民間清掃業者との協力体制に向けた協議を実施しました。連携の具体化については、継続協議としています。 (新規)衛生管理指導業務の委託化 新たに、(公財)新潟水道サービスへの衛生管理指導業務委託化について検討し、平成28年度予算措置を行いました。			貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議 平成27年度に引き続き、強化月間の設定に向けた協議を行いました。具体化には至りませんでした。平成29年度継続協議とします。 民間清掃業者との連携 貯水槽清掃強化月間の設定に向けて、民間清掃業者との協議を実施しましたが、連携の具体化には至りませんでした。平成29年度継続協議としています。 (新規)衛生管理指導業務の委託化 新たに、(公財)新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃報告の無い施設300件を対象に、事前確認等の後、164件の訪問・電話指導を実施しました。			貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議 強化月間における取組案の作成に留まり、具体的な協議には至りませんでした。平成30年度は、作成した取組案を基に関係機関と協議します。 民間清掃業者との連携 貯水槽清掃強化月間の設定に向けて、民間清掃業者との協議を実施しましたが、連携の具体化には至りませんでした。平成30年度は、強化月間での取組案を基に、協議します。 (新規)衛生管理指導業務の委託化 新たに、(公財)新潟水道サービスへ貯水槽施設衛生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃報告の無い施設300件を対象に、訪問・電話指導を実施しました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議		1点		貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議		1点		貯水槽清掃強化月間の設定に向けた協議		1点	
	民間清掃業者との連携協議		1点		民間清掃業者との連携協議		1点		民間清掃業者との連携協議		1点	
	(新規)衛生管理指導業務委託化	2点			(新規)衛生管理指導業務委託化	1点			(新規)衛生管理指導業務委託化	1点		
平均(A)		1.3点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
貯水槽清掃実施率 (簡易専用水道)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	92.8%	92.9%	93.1%	95.1%	103%	4点	96.9%	104%	4点	97.4%	105%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
貯水槽清掃実施率 (小規模貯水槽水道)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	65.5%	65.6%	65.8%	65.4%	100%	3点	72.1%	110%	4点	71.7%	109%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
貯水槽清掃実施率 (全体清掃率)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	76.5%	76.6%	76.8%	77.4%	101%	4点	82.3%	107%	4点	82.3%	107%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>予算の執行額は、前年度の清掃未実施者への指導文書郵送経費であり、平成26年度は清掃実施率が高かったことから低減しました。また、所有者所在不明のため、指導が行えない施設も増加していることから、今後は、料金情報等から所有者不明を解消し、適切な指導に努めます。平成28年度は、関係機関と継続協議としています。</p>			<p>衛生管理指導業務の強化 未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を新たに委託化し、限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。関係機関との連携については、継続協議とします。</p>			<p>衛生管理指導業務の強化 未清掃の小規模貯水槽施設に対する衛生管理訪問指導を委託化し、限られた人員体制の中で、効率よく指導強化を進めました。関係機関との連携については、継続協議とします。</p>		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>貯水槽清掃実施率全体では、目標値を0.9ポイント上回り、衛生管理の向上が図られ目標は達成されました。しかし、小規模貯水槽水道にあっては、目標値より0.1ポイント下回りました。より安心安全な水道水利用のためにも、平成28年度からは一部業務を委託化し、管理指導強化を進め、衛生管理向上を図ることとします。</p>			<p>貯水槽清掃実施率全体では、目標値を5.7ポイント上回りました。清掃実施率は、全体的に緩やかな上昇傾向にあり、新たに委託化した訪問指導強化による効果も含め、平成28年度は大きく上昇したものと考えます。しかし、これまでの清掃実施率は毎年上下を繰り返していることから、今後も慎重に推移を確認し、訪問指導強化の有効性を評価する必要があります。</p>			<p>全体の貯水槽清掃率は、平成28年度に引き続き目標値を5.7ポイント上回りました。平成28年度に前年度比で大きな清掃率上昇がみられたため、平成29年度は反動から前年度より清掃率が低下することが懸念されましたが、前年度同等の高い清掃率を達成できたことは、委託化による訪問・電話指導強化の効果が一因としてあったものと思慮します。しかし、清掃実施率は毎年上下を繰り返しており、今後も継続的に清掃実施率の推移に注視していく必要があります。</p>		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	II	給水装置における水質保持	事業・取組名	II-3	指定給水装置工事事業者の技術力向上	所管課	管路課
----	----	--------------	--------	------	-------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	指定給水装置工事事業者の技術力向上により、工事の品質確保やお客さまとのトラブルの未然防止を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促します。 講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保及び技術力確保のため、適宜講習内容を見直します。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施します。	講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促します。 講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保及び技術力確保のため、適宜講習内容を見直します。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施します。	講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促します。 講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保及び技術力確保のため、適宜講習内容を見直します。 給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	383,400			423,360			407,160		
	執行額(b)	400,188			421,361			311,590		
	執行率(%) (b) / (a)	104%			100%			76.5%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	0.2人	0.2人		0.2人	0.2人		0.2人	0.2人	
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年	1年	100%
	単位あたりの 作業量(c/d) (1年間の従事職員数)	0.2人/年 (ア)	0.2人/年 (イ)	(イ/ア)	0.2人/年 (ア)	0.2人/年 (イ)	(イ/ア)	0.2人/年 (ア)	0.2人/年 (イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	講習会への積極的な参加要請 ・講習会参加率73.6%	講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促しました。(参加率:74.2%)			講習会への積極的な参加要請 ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を促しました。(参加率:80.1%)			講習会への積極的な参加要請 ・指定工事事業者講習会を予定し、講習会受講連絡のない業者に対し、講習会受講を促したものの、異常寒波の影響により急遽中止せざるをえませんでした。				
	講習内容の適宜見直し ①指定業者として何をすべきか ②給水装置の維持管理・事故例	講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保のため、講習内容を見直し実施しました。 ①適正な給水装置工事の施工 ②適切な安全管理			講習内容の適宜見直し ・適切な施工確保のため、講習内容を見直し実施しました。 (公社)日本水道協会発行「指定給水装置工事事業者研修テキスト」の 改定に合わせた内容変更			講習内容の適宜見直し ・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、講習内容の見直しと講習会資料を作成しました。				
	給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・優良工事店表彰(19件:15社)	給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(21件:18社)			給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(20件:19社) ・熊本地震への復旧支援に対し、特別表彰を実施しました。(1団体、24社)			給水装置工事の適切な評価と表彰制度を継続 ・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施しました。(19件:17社) ・寒波の際の応急復旧支援に対し、特別表彰を実施しました。(1団体)				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		講習会参加要請	1点		講習会参加要請	1点		講習会参加要請	1点			
		講習内容の適宜見直し	1点		講習内容の適宜見直し	1点		講習内容の適宜見直し	1点			
	指定給水装置工事事業者表彰の実施	1点		指定給水装置工事事業者表彰の実施	1点		指定給水装置工事事業者表彰の実施	1点				
	平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
給水装置に係る 事故件数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	0件	0件	0件	0件	100%	3点	0件	100%	3点	0件	100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
指定給水装置工事 事業者講習会参加率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	73.6%	74.2%	78.0%	74.2%	101%	4点	80.1%	108%	4点	73.1%	93.7%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
優良指定給水装置工 事事業者の表彰実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実施	実施	3点	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>予算の執行については、優良工事店表彰が当初予定数に対し増加したことにより執行額が4.4%上昇しました。 講習内容は、研修テキストによるマンネリ防止から、現場実務的な内容に改めました。 講習会参加率は、前年度比で0.6ポイント上昇し当初目標を達しました。</p>			<p>優良工事店表彰において、熊本地震への復旧支援に対する特別表彰がありました。経費削減に努め、当初予算内で執行しました。 講習内容は、「指定給水装置工事事業者研修テキスト」の改定に合わせて改めました。 講習会参加率は、前年度比で5.9ポイント上昇し当初目標を達しました。</p>			<p>指定給水装置工事事業者講習会の講習内容は、指定工事事業者の施工技術向上に資するべく、近々予定されている水道法改正の内容など、最近の情報を盛り込んで作成しました。 優良工事店表彰については、施行内容が優れた工事事業者17社に対し、支障なく実施しました。運営経費に契約差益が生じたため、執行率は低下しました。</p>		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これら取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。</p>			<p>講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これら取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。</p>			<p>講習会や表彰制度にあっては、業者の施工技術の向上及び意欲の高揚を図ることを目的に実施しており、これら取り組みは給水装置工事における事故防止にも繋がります。よって当該取組は、今後も継続的に実施していきます。 ※「指定給水装置工事事業者講習会参加率」は寒波により急速講習会が中止となったため、新潟会場分は受講申込数にて算定。</p>		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	表彰制度は業者の方々にとって励みになる良い制度であることから、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-1	浄水施設計画的更新	所管課	計画整備課
----	---	------------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	浄水処理・送配水機能の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的に更新するとともに、水需要の減少を踏まえて設備能力を見直し、施設規模の適正化を図ります。また、更新に併せて、環境負荷の低減や維持管理性の向上に配慮した整備を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度 浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【阿賀野川浄水場整備事業】平成27～31年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施	28年度 浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【阿賀野川浄水場整備事業】平成27～31年度 【配水場整備事業】平成28～32年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施	29年度 浄水場毎に実施する大規模な整備事業を中心に、各施設の老朽化した設備を更新します。 【阿賀野川浄水場整備事業】平成27～31年度 【配水場整備事業】平成28～32年度 【個別整備】各施設の経年劣化した個別の設備状況に合わせ、計画的な更新及び施設整備を実施

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	559,694,000			1,326,776,000			3,434,021,000		
	執行額(b)	516,618,000			1,417,115,000			2,177,981,000		
	執行率(%) (b) / (a)	92%			107%			63%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	0.5人	0.5人		3.9人	3.9人		5.0人	5.0人	
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年	1年	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (1年間の従事職員数)	0.5人/年	0.5人/年	(イ/ア)	3.9人/年	3.9人/年	(イ/ア)	5.0人/年	5.0人/年	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	阿賀野川浄水場施設整備実施設計を実施	阿賀野川浄水場整備事業 ・ポンプ場築造工事の実施(平成29年度完了予定) 経年劣化した設備の個別整備			阿賀野川浄水場整備事業 ・ポンプ場築造工事の実施(平成29年度完了予定) ・電気設備更新工事の実施(平成31年度完了予定) ・自家発電設備更新工事の実施(平成30年度完了予定) ・監視制御設備更新工事の実施(平成31年度完了予定) ・ポンプ設備更新工事の実施(平成30年度完了予定) 配水場整備事業 ・内野配水ポンプ電気設備更新工事の実施(平成29年度完了予定) ・竹尾配水ポンプ電気設備更新工事の実施(平成30年度完了予定) 経年劣化した設備の個別整備			阿賀野川浄水場整備事業 ・ポンプ場築造工事の実施(平成29年度完了) ・電気設備更新工事の実施(平成31年度完了予定) ・自家発電設備更新工事の実施(平成30年度完了予定) ・監視制御設備更新工事の実施(平成31年度完了予定) ・ポンプ設備更新工事の実施(平成30年度完了予定) ・粉末活性炭注入設備更新工事の実施(平成30年度完了予定) 配水場整備事業 ・内野配水ポンプ電気設備更新工事の実施(平成29年度完了) ・竹尾配水ポンプ電気設備更新工事の実施(平成30年度完了予定) ・南浜電気設備更新工事の実施(平成32年度完了予定) 経年劣化した設備の個別整備				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		阿賀野川浄水場整備事業	1点		阿賀野川浄水場整備事業	1点		阿賀野川浄水場整備事業	0点	配水場整備事業	1点	
		平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	0.5点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
阿賀野川浄水場 整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績	実施	3点	実績	実施	3点	実績	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
配水場整備事業	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	実施	実施	—	—	—	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	ポンプ場築造工事において、安全性確認のため土質調査の結果、地盤支持力や土質の不均一性が判明したため、基礎杭、仮設土留め工法を変更したことにより目標出来形は達成できなかったものの、ほぼ予定通りに工事を実施しました。			阿賀野川浄水場整備事業は、ポンプ場築造工事を予定通り工事を進めるとともに、機械・電気設備更新工事などの各工事を計画通り発注して工事着手しました。また、平成28年度からは配水場整備事業に着手し、予定通り工事を実施しました。			・ポンプ場築造工事(阿賀整備)および内野配水ポンプ電気設備更新工事(配水場整備)は予定通り完了しました。 ・阿賀野川浄水場整備事業の機械・電気設備工事では機器仕様様の検討に時間を要したことで目標出来形には到達できなかったものの、工程は概ね計画通りに進んでいます。 ・粉末活性炭注入設備更新工事(阿賀整備)及び南浜電気設備更新工事(配水場整備)を計画通り発注し、工事着手しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水施設の信頼性と安定性を維持していくため老朽化した設備を計画的に更新する必要があります。阿賀野川浄水場施設整備事業は、来年度以降も稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理に努めます。			水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水施設の信頼性と安定性を維持していくため老朽化した設備を計画的に更新する必要があります。阿賀野川浄水場施設整備事業は、昨年度に引き続き稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理に努めます。また、配水場施設整備事業についても、計画通りに工事を進めています。			水需要の減少を踏まえた施設規模の適正化を図るとともに、浄配水施設の信頼性と安定性を維持していくため老朽化した設備を計画的に更新する必要があります。阿賀野川浄水場及び配水場施設整備事業は、昨年度に引き続き稼働施設の安全確保を最優先として、計画通りの確実な施工管理に努めます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ—2	管路施設の計画的更新	所管課	計画整備課
----	---	------------	--------	-----	------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れ、更新周期を設定し、老朽化した管路施設(基幹管路・配水支管)を中心に計画的に更新します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成27年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成27年度22,700m	基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成28年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成28年度26,500m	基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成29年度5,200m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成29年度26,500m

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	4,042,197,779			4,575,493,647			4,898,833,373		
	執行額(b)	3,965,809,835			4,431,799,960			4,527,132,109		
	執行率(%) (b)/(a)	98%			97%			92%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	30.1人	29.3人	97%	30.4人	30.8人	101%	29.8人	30.4人	102%
	期間(d) (従事期間)	1年	1年		1年	1年		1年		
	単位あたり の作業量(c/d)	30.1人/年	29.3人/年	(イ/ア)	30.4人/年	30.8人/年	(イ/ア)	29.8人/年	30.4人/年	(イ/ア)
(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度					
	・基幹管路更新延長 6,700m ・配水支管更新延長 27,500m	今年度計画していた工事は、予定通りに概ね発注をしました。 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 5,130m※ 4,870m(計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。 配水支管更新事業 更新延長 18,042m ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,326m 配水支管更新事業 更新延長 19,538m (注):事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。評価については、この発注延長を基にした耐震適合率によります。			目標には達しませんでした。今年度計画していた工事は、予定通りに概ね発注しました。 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 4,637m 4,190m(予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 19,321m 16,941m(予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。 ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,628m 配水支管更新事業 更新延長 15,711m (注):事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。				目標には達しませんでした。今年度計画していた工事は、予定通りに概ね発注しました。 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,193m 2,840m(予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 15,617m 14,079m(予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。 ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,388m 配水支管更新事業 更新延長 17,090m (注):事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。					
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		
		基幹管路更新事業		1点	基幹管路更新事業			0点	基幹管路更新事業			0点		
		配水支管更新事業		0点	配水支管更新事業			0点	配水支管更新事業			0点		
	平均(A)	0.5点			平均(A)	0.0点				平均(A)	0.0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
基幹管路更新延長 ※評価指標の延長は 発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	4,900m	4,900m	5,200m	4,870m	99%	3点	4,190m	86%	2点	2,840m	55%	1点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点
配水支管更新延長 ※評価指標の延長は 発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	22,700m	26,500m	26,500m	18,042m	79%	1点	16,941m	64%	1点	14,079m	53%	1点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 積算基準の変更などから工事単価が大幅に上昇したため、管路事業全体の予算配分の見直しを行いました。 これにより、基幹管路更新、配水支管更新それぞれ計画していた工事発注件数の調整を行ない、調整後は予定通り工事発注を行ないました。 基幹管路については、既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートにより更新を進めたため延長が増えました。このため、効率性評価として用いるには、馴染まないことから、当初計画延長により評価を行ないます。 			<ul style="list-style-type: none"> 工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分の見直しを行いました。 この見直しに基づき、基幹管路更新、配水支管更新はほぼ予算通りの工事発注を行ないました。 マスタープランの更新計画延長に対しては、基幹管路はほぼ目標に達したものの、配水支管更新は事業費の一部を基幹管路更新に充当したことから29ポイント下回りました。 			<ul style="list-style-type: none"> 積算基準の変更および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分の見直しを行いました。 この見直しに基づき、基幹管路更新、配水支管更新はほぼ予算通りの工事発注を行ないました。 マスタープランの更新計画延長に対しては、工事難易度が高まったことによる事業費の増加等により目標に達しませんでした。 		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	1点	D	作業効率	1点	D
	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	1点	4点/10点	外的要因加点	1点	4点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	確実な管路更新により、老朽化管路率・老朽化基幹管路率は減少し、管路耐震適合率・基幹管路耐震適合率は向上しています。 漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するために、今後も計画的な更新を進めていきます。			工事単価の上昇などにより管路事業費の予算配分を見直した結果、基幹管路更新を優先したことから配水支管更新は計画通り進みませんでした。 漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するために、今後も計画的な更新を進めていきます。 また、今後も市街地域における特殊工事の追加や工事単価の上昇などによる工事費増加が予想されることから、中期実施計画策定に向けた管路更新計画の見直しを行います。			漏水事故の影響が大きい基幹管路更新を優先したことから配水支管更新が計画通り進みませんでした。 基幹管路更新では、市街地域の更新工事が多く、交通量や埋設物の影響により工事費が増加したことから更新延長が伸びませんでした。 市街地域に集中した老朽管を更新することで漏水事故の未然防止を図ります。		
評価結果	達成度	2点	総合評価	達成度	2点	総合評価	達成度	1点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	2点	C	進捗度	2点	C	進捗度	1点	D
	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	1点	3点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	改善・見直し	改善・見直し
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	管路の計画的更新は、耐震化や有収率向上対策につながる事業でもある。工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分を見直し、配水支管更新の事業費の一部を、基幹管路更新へ充当したことは、限られた財源の中でやむを得ないと思われる。厳しい財政事情の中ではあるが、より効率性を追求し早期更新が可能となるよう努めること。	限られた財源の中、事業の計画通りの進捗が困難であることは理解するが、一方で老朽管の破損が招く被害や経済的損失が大きいことも見逃すことのできない現実である。リスクと経営資源を勘案し、実態に即し実現可能な更新計画のもと、然るべき額の事業費を確保した上で、着実な事業の推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	Ⅲ	水道施設の計画的更新	事業・取組名	Ⅲ-3	鉛給水管の計画的更新	所管課	管路課
----	---	------------	--------	-----	------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	鉛給水管を更新し給水管の耐震化および漏水の未然防止を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	<p>27年度</p> <p>鉛給水管が分岐している配水支管(小口径老朽管:主に口径50mmのビニル管、鋼管)の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口径老朽管更新(ガス工事競合) ・小口径老朽管更新(局単独工事) ・他工事に関連する鉛給水管更新(下水道工事等) ・連合鉛給水管更新 ・鉛給水管更新(戸別) 	<p>28年度</p> <p>鉛給水管が分岐している配水支管(小口径老朽管:主に口径50mmのビニル管、鋼管)の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口径老朽管更新(ガス工事競合) ・小口径老朽管更新(局単独工事) ・他工事に関連する鉛給水管更新(下水道工事等) ・連合鉛給水管更新 ・鉛給水管更新(戸別) 	<p>29年度</p> <p>鉛給水管が分岐している配水支管(小口径老朽管:主に口径50mmのビニル管、鋼管)の更新により効果的に鉛給水管の解消を図ります。また、戸別の鉛給水管の更新は鉛管使用密度の高い地域から解消していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口径老朽管更新(ガス工事競合) ・小口径老朽管更新(局単独工事) ・他工事に関連する鉛給水管更新(下水道工事等) ・連合鉛給水管更新 ・鉛給水管更新(戸別)

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	770,590,192		643,403,675		661,095,864				
	執行額(b)	738,874,863		625,472,423		586,752,451				
	執行率(%) (b) / (a)	96%		97%		89%				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	10.5人	10.0人	95%	10.3人	11.8人	115%	11.0人	10.9人	99%
	期間(d) (従事期間)	1年	1年		1年	1年		1年		
	単位あたり の作業量(c/d)	10.5人/年	10.0人/年	10.3人/年	11.8人/年	11.0人/年	10.9人/年			
(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度																																																																																					
	鉛製給水管率 7.3%	更新件数			更新件数			更新件数																																																																																					
		<table border="1"> <tr><th>施策</th><th>当初見込</th><th>更新数</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新(ガス競合)</td><td rowspan="3">650</td><td rowspan="3">681</td><td rowspan="3">104.8%</td></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新(局単独)</td></tr> <tr><td>連合給水鉛管更新</td></tr> <tr><td>小計</td><td>650</td><td>681</td><td></td></tr> <tr><td>他工事給水鉛管更新</td><td rowspan="2">830</td><td rowspan="2">795</td><td rowspan="2">95.8%</td></tr> <tr><td>給水鉛管更新(局単独)</td></tr> <tr><td>小計</td><td>830</td><td>795</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>1,480</td><td>1,476</td><td>99.7%</td></tr> </table>	施策	当初見込	更新数	実施率	小口径管鉛給水更新(ガス競合)	650	681	104.8%	小口径管鉛給水更新(局単独)	連合給水鉛管更新	小計	650	681		他工事給水鉛管更新	830	795	95.8%	給水鉛管更新(局単独)	小計	830	795		計	1,480	1,476	99.7%	<table border="1"> <tr><th>施策</th><th>当初見込</th><th>更新数</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新(ガス競合)</td><td rowspan="3">460</td><td rowspan="3">482</td><td rowspan="3">104.8%</td></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新(局単独)</td></tr> <tr><td>連合給水鉛管更新</td></tr> <tr><td>小計</td><td>460</td><td>482</td><td></td></tr> <tr><td>他工事給水鉛管更新</td><td rowspan="2">790</td><td rowspan="2">622</td><td rowspan="2">109.3%</td></tr> <tr><td>給水鉛管更新(局単独)</td></tr> <tr><td>給水装置工事</td><td>375</td><td>651</td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>1,165</td><td>1,273</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>1,625</td><td>1,755</td><td>108.0%</td></tr> </table>	施策	当初見込	更新数	実施率	小口径管鉛給水更新(ガス競合)	460	482	104.8%	小口径管鉛給水更新(局単独)	連合給水鉛管更新	小計	460	482		他工事給水鉛管更新	790	622	109.3%	給水鉛管更新(局単独)	給水装置工事	375	651		小計	1,165	1,273		計	1,625	1,755	108.0%	<table border="1"> <tr><th>施策</th><th>当初見込</th><th>更新数</th><th>実施率</th></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新(ガス競合)</td><td rowspan="3">420</td><td rowspan="3">362</td><td rowspan="3">86.2%</td></tr> <tr><td>小口径管鉛給水更新(局単独)</td></tr> <tr><td>連合給水鉛管更新</td></tr> <tr><td>小計</td><td>420</td><td>362</td><td></td></tr> <tr><td>他工事給水鉛管更新</td><td rowspan="2">750</td><td rowspan="2">507</td><td rowspan="2">100.4%</td></tr> <tr><td>給水鉛管更新(局単独)</td></tr> <tr><td>給水装置工事</td><td>375</td><td>622</td><td></td></tr> <tr><td>小計</td><td>1,125</td><td>1,129</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>1,545</td><td>1,491</td><td>96.5%</td></tr> </table>	施策	当初見込	更新数	実施率	小口径管鉛給水更新(ガス競合)	420	362	86.2%	小口径管鉛給水更新(局単独)	連合給水鉛管更新	小計	420	362		他工事給水鉛管更新	750	507	100.4%	給水鉛管更新(局単独)	給水装置工事	375	622		小計	1,125	1,129		計	1,545	1,491	96.5%
	施策	当初見込	更新数	実施率																																																																																									
小口径管鉛給水更新(ガス競合)	650	681	104.8%																																																																																										
小口径管鉛給水更新(局単独)																																																																																													
連合給水鉛管更新																																																																																													
小計	650	681																																																																																											
他工事給水鉛管更新	830	795	95.8%																																																																																										
給水鉛管更新(局単独)																																																																																													
小計	830	795																																																																																											
計	1,480	1,476	99.7%																																																																																										
施策	当初見込	更新数	実施率																																																																																										
小口径管鉛給水更新(ガス競合)	460	482	104.8%																																																																																										
小口径管鉛給水更新(局単独)																																																																																													
連合給水鉛管更新																																																																																													
小計	460	482																																																																																											
他工事給水鉛管更新	790	622	109.3%																																																																																										
給水鉛管更新(局単独)																																																																																													
給水装置工事	375	651																																																																																											
小計	1,165	1,273																																																																																											
計	1,625	1,755	108.0%																																																																																										
施策	当初見込	更新数	実施率																																																																																										
小口径管鉛給水更新(ガス競合)	420	362	86.2%																																																																																										
小口径管鉛給水更新(局単独)																																																																																													
連合給水鉛管更新																																																																																													
小計	420	362																																																																																											
他工事給水鉛管更新	750	507	100.4%																																																																																										
給水鉛管更新(局単独)																																																																																													
給水装置工事	375	622																																																																																											
小計	1,125	1,129																																																																																											
計	1,545	1,491	96.5%																																																																																										
		<table border="1"> <tr><th></th><th>予定を上回る101%以上</th><th>予定どおり90%~100%以下</th><th>予定を下回る90%未満~</th></tr> <tr><td>小口径老朽管更新(ガス工事競合)</td><td rowspan="3">2点</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小口径老朽管更新(局単独工事)</td></tr> <tr><td>連合鉛給水管更新</td></tr> <tr><td>他工事に関連する鉛給水管更新</td><td></td><td rowspan="2">1点</td><td></td></tr> <tr><td>鉛給水管更新(戸別)</td></tr> <tr><td>平均(A)</td><td></td><td>1.5点</td><td></td></tr> </table>		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~	小口径老朽管更新(ガス工事競合)	2点			小口径老朽管更新(局単独工事)	連合鉛給水管更新	他工事に関連する鉛給水管更新		1点		鉛給水管更新(戸別)	平均(A)		1.5点		<table border="1"> <tr><th></th><th>予定を上回る101%以上</th><th>予定どおり90%~100%以下</th><th>予定を下回る90%未満~</th></tr> <tr><td>小口径老朽管更新(ガス工事競合)</td><td rowspan="3">2点</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小口径老朽管更新(局単独工事)</td></tr> <tr><td>連合鉛給水管更新</td></tr> <tr><td>他工事に関連する鉛給水管更新</td><td></td><td rowspan="2">2点</td><td></td></tr> <tr><td>鉛給水管更新(戸別)</td></tr> <tr><td>給水装置工事</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>平均(A)</td><td></td><td>2.0点</td><td></td></tr> </table>		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~	小口径老朽管更新(ガス工事競合)	2点			小口径老朽管更新(局単独工事)	連合鉛給水管更新	他工事に関連する鉛給水管更新		2点		鉛給水管更新(戸別)	給水装置工事				平均(A)		2.0点		<table border="1"> <tr><th></th><th>予定を上回る101%以上</th><th>予定どおり90%~100%以下</th><th>予定を下回る90%未満~</th></tr> <tr><td>小口径老朽管更新(ガス工事競合)</td><td></td><td></td><td rowspan="3">0点</td></tr> <tr><td>小口径老朽管更新(局単独工事)</td></tr> <tr><td>連合鉛給水管更新</td></tr> <tr><td>他工事に関連する鉛給水管更新</td><td></td><td rowspan="2">1点</td><td></td></tr> <tr><td>鉛給水管更新(戸別)</td></tr> <tr><td>給水装置工事</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>平均(A)</td><td></td><td>0.5点</td><td></td></tr> </table>		予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~	小口径老朽管更新(ガス工事競合)			0点	小口径老朽管更新(局単独工事)	連合鉛給水管更新	他工事に関連する鉛給水管更新		1点		鉛給水管更新(戸別)	給水装置工事				平均(A)		0.5点																									
	予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~																																																																																										
小口径老朽管更新(ガス工事競合)	2点																																																																																												
小口径老朽管更新(局単独工事)																																																																																													
連合鉛給水管更新																																																																																													
他工事に関連する鉛給水管更新		1点																																																																																											
鉛給水管更新(戸別)																																																																																													
平均(A)		1.5点																																																																																											
	予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~																																																																																										
小口径老朽管更新(ガス工事競合)	2点																																																																																												
小口径老朽管更新(局単独工事)																																																																																													
連合鉛給水管更新																																																																																													
他工事に関連する鉛給水管更新		2点																																																																																											
鉛給水管更新(戸別)																																																																																													
給水装置工事																																																																																													
平均(A)		2.0点																																																																																											
	予定を上回る101%以上	予定どおり90%~100%以下	予定を下回る90%未満~																																																																																										
小口径老朽管更新(ガス工事競合)			0点																																																																																										
小口径老朽管更新(局単独工事)																																																																																													
連合鉛給水管更新																																																																																													
他工事に関連する鉛給水管更新		1点																																																																																											
鉛給水管更新(戸別)																																																																																													
給水装置工事																																																																																													
平均(A)		0.5点																																																																																											

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
鉛給水管率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	7.3%	7.0%	5.2%	7.0%	104%	4点	6.3%	111%	5点	5.9%	88%	2点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点
	7.3%	7.0%	5.2%	7.0%	104%	4点	6.3%	111%	5点	5.9%	88%	2点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	鉛製給水管の更新は、他工事と併せた工事による費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っています。今年度は予算執行・更新件数とも概ね当初目標どおりに達成することができました。			鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っています。今年度も効率的な予算執行により、目標を超える更新を行うことができました。			鉛給水管の更新は、他工事と併せ実施することによる費用の縮減や、鉛管密度の高い地域から更新を進めることで効率化を図っていますが、鉛管更新の進捗により鉛管密度は当初見込以上に漸次低減しており、他工事の施工に併せた更新数は減少傾向にあるため、今年度は当初目標を下回る結果となりました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があります。小口径老朽管(主に口径50mmのビニル管、鋼管)の更新に併せて解消するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消をすすめていきます。			鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施する必要があります。小口径老朽管(主に口径50mmのビニル管、鋼管)の更新に併せて解消するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めていきます。			鉛給水管の更新は漏水事故の未然防止や有収率向上の観点から継続して実施することから、引き続き他工事関連や、小口径老朽管(主に口径50mmのビニル管、鋼管)の解消を推進するとともに、戸別の鉛給水管は鉛管密度の高い地域から解消を進めます。なお、前述のとおり、他工事(下水道・ガス)の減少及び鉛管密度の低減化により、当初見込以上に工事実施数が減少するなど、外的要素が主原因で有効性の低下が生じたことを踏まえ、加点を行うものです。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	2点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	5点	A	進捗度	2点	C
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	1点	5点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	リスクと経営資源を勘案し、実態に即し実現可能な更新計画のもと、着実な事業の推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	震災対策・体制の強化	事業・取組名	IV-1	浄配水施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	--------------	-----	-------

①事業概要							
【事業の目的】		大規模地震が発生した場合でも、影響を最小限にとどめ、水道システムとして機能を損なうことのないよう、浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)		27年度		28年度		29年度	
		耐震補強実施予定施設 平成27～36年度 【建築物】1施設 ・戸頭浄水場(脱水機棟) 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場(配水池、洗浄水槽)・阿賀浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池) ・満願寺浄水場(沈砂池)・戸頭浄水場(1系配水場)・巻浄水場(ろ過池) ・その他(取水場、配水場等5施設) 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場 【平成27年度】2施設実施 ・青山浄水場(洗浄水槽)、阿賀浄水場(洗浄水槽)		耐震補強実施予定施設 平成27～36年度 【建築物】2施設 ・戸頭浄水場(脱水機棟、1系配水ポンプ場) 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場(配水池、洗浄水槽)・阿賀浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池) ・満願寺浄水場(沈砂池)・戸頭浄水場(1系配水場)・巻浄水場(ろ過池) ・その他(取水場、配水場等5施設) 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場 【平成28年度】2施設に着手 ・阿賀浄水場(配水池、沈砂池)耐震化工事に着手(構内水管含む)		耐震補強実施予定施設 平成27～36年度 【建築物】2施設 ・戸頭浄水場(脱水機棟、1系配水ポンプ場) 【土木構造物】13施設 ・青山浄水場(配水池、洗浄水槽)・阿賀浄水場(配水池、洗浄水槽、沈砂池) ・満願寺浄水場(沈砂池)・戸頭浄水場(1系配水場)・巻浄水場(ろ過池) ・その他(取水場、配水場等5施設) 【構内水管】 ・取水場、浄水場、配水場 【平成29年度】2施設実施 ・阿賀浄水場(配水池、沈砂池)耐震化工事(構内水管含む)	

②過程										
【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	100,874,000			311,148,000			427,680,000		
	執行額(b)	98,458,040			154,300,000			475,433,000		
	執行率(%) (b)/(a)	98%			50%			111%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	0.5人	0.5人		1.5人	1.5人		2.0人	2.0人	
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年	1年	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (1年間の従事職員数)	0.5人/年	0.5人/年	(イ/ア)	1.5人/年	1.5人/年	(イ/ア)	2.0人/年	2.0人/年	(イ/ア)

③所管課分析評価														
■結果・効果														
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績		27年度				28年度				29年度			
	・青山浄水場1系沈砂池の耐震補強完了		・青山浄水場洗浄水槽の耐震補強完了 ・阿賀野川浄水場洗浄水槽の耐震補強完了				今年度計画していた工事は予定通り発注しましたが、構内水管耐震化工事において、既設配管の試掘調査に時間を要し配管計画の策定が遅れたことから、予定出来高が達成できずに予算執行率が低下しました。 阿賀野川浄水場 ・構内水管の耐震化および配水池耐震補強の実施(平成31年度完了予定) ・沈砂池耐震補強の実施(平成29年度完了予定)				阿賀野川浄水場 ・構内水管の耐震化および配水池耐震補強の実施(平成31年度完了予定) ・沈砂池耐震補強の実施(平成29年度完了予定)			
			その他 ・青山向け導水管サージタンク(鳥屋野小学校脇)転倒対策工事業実施設計業務の実施				その他 ・青山向け導水管サージタンク(鳥屋野小学校脇)転倒対策工事業実施設計業務の実施				その他 ・青山向け導水管サージタンク(鳥屋野小学校脇)転倒対策完了			
			予定を上回る 101%以上				予定を上回る 101%以上				予定を上回る 101%以上			
			予定どおり 90%~ 100%以下				予定どおり 90%~ 100%以下				予定どおり 90%~ 100%以下			
		耐震補強実施施設(土木構造物)				耐震補強実施施設(土木構造物)				耐震補強実施施設(土木構造物)				
		1点				0点				1点				
		平均(A)				平均(A)				平均(A)				
		1.0点				0.0点				1.0点				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
【建築物】 (完了数/全計画数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	2/2	—	—	—	—	—	—	0/2	0%	1
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	2/2	—	—	—	—	—	—	0/2	0%	1
【土木構造物】 (完了数/全計画数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1/13	2/13	3/13	2/13	200%	5点	2/13	100%	3点	3/13	100%	3
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	1	2	3	2	200%	5点	2	100%	3点	3	100%	3
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	浄配水施設の耐震化は、予定通り2施設完了しました。			浄配水施設の耐震化は、予定していた1施設(阿賀野川洗浄水槽)は27年度に前倒しで完了するとともに、阿賀野川浄水場の構内水管耐震化、配水池と沈砂池の補強工事に着手しました。ただし、阿賀野川浄水場の構内水管耐震化工事は、既設配管の試掘調査に時間を要し配管計画の策定が遅れたことから、予定出来高が達成できませんでした。			(建築物) 戸頭浄水場で計画していた平成29年度予定の1系配水ポンプ場は、耐震診断の結果により耐震補強は不要となり、脱水機等は粉末活性炭注入設備に併せ改修および耐震補強を実施するため後期に先送りしたことから、平成29年度補強実施はありません。また、沈砂池・ろ過池上屋を対象施設に追加し、後期に補強を実施します。 (土木構造物) 阿賀浄水場の沈砂池は予定通り完了しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水施設の耐震化を進めていく必要があります。来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備に併せ効率的に耐震補強を実施します。			大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水施設の耐震化を進めていく必要があります。来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備に併せ効率的に耐震補強を実施します。			大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を損なうことのないように浄配水施設の耐震化を進めていく必要があります。来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備に併せ効率的に耐震補強を実施します。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	2点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	3点	C	進捗度	2点	D
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	4点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	改善・見直し
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	地震発生時における浄配水施設の機能の維持は、地震に対する「強靱さ」を備えた都市形成のためにも非常に重要である。そのため、水道需要の将来予測等も考慮の上、管路施設の耐震化と合わせて、効率的かつ着実な事業の推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	震災対策・体制の強化	事業・取組名	IV-2	管路施設の計画的耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、老朽化管路を地震に強い耐震管へ入れ替え、管路施設の耐震化を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度 Ⅲ-2管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成27年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成27年度22,700m	28年度 Ⅲ-2管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成28年度4,900m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成28年度26,500m	29年度 Ⅲ-2管路施設の計画的更新に併せ実施 基幹管路更新事業 基幹管路更新計画に基づく管路の更新 平成27年度～36年度 59.7km 平成29年度5,200m 配水支管更新事業 年度別に更新路線を選定し更新 平成27年度～36年度 239.7km 平成29年度26,500m

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	4,042,197,779			4,575,493,647			4,898,833,373		
	執行額(b)	3,965,809,835			4,431,799,960			4,527,132,109		
	執行率(%) (b)/(a)	98%			97%			92%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	30.1人	29.3人		30.4人	30.8人		29.8人	30.4人	
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	97%	1年	1年	101%	1年	1年	102%
	単位あたり の作業量(c/d) (1年間の従事職員数)	30.1人/年 (ア)	29.3人/年 (イ)	(イ/ア)	30.4人/年 (ア)	30.8人/年 (イ)	(イ/ア)	29.8人/年 (ア)	30.4人/年 (イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価
■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・基幹管路更新延長 6,700m ・配水支管更新延長 27,500m	今年度計画していた工事は、予定通り概ね発注をしました。 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 5,130m※ 4,870m(計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。 配水支管更新事業 更新延長 18,042m ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,326m 配水支管更新事業 更新延長 19,538m (注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理している。評価については、この発注延長を基にした耐震適合率による。			目標には達しませんでした。今年度計画していた工事は、予定通り概ね発注をしました。 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 4,637m 4,190m(予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 19,321m 16,941m(予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。 ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,628m 配水支管更新事業 更新延長 15,711m (注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理していることから、この発注延長を基にした耐震適合率により評価します。			目標には達しませんでした。今年度計画していた工事は、予定通りに概ね発注しました。 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,193m 2,840m(予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 15,617m 14,079m(予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートによる更新を行った結果、延長が増えています。 ◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,388m 配水支管更新事業 更新延長 17,090m (注)：事業の進捗は、工事の発注延長により計画管理しています。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		基幹管路更新事業	1点		基幹管路更新事業		0点		基幹管路更新事業		0点	
		配水支管更新事業		0点	配水支管更新事業		0点		配水支管更新事業		0点	
	平均(A)	0.5点			平均(A)	0.0点			平均(A)	0.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
管路耐震適合率 ※ 基となる延長は 発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
	66.9%	67.7%	68.5%	67.0%(見込み)		100%	67.6%(見込み)		100%	68.1%(見込み)		99%
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
基幹管路耐震適合率 ※ 基となる延長は 発注延長(計画値)を使用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
	59.4%	61.0%	62.1%	59.3%(見込み)		100%	61.2%(見込み)		100%	62.4%(見込み)		100%
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・積算基準の変更などから工事単価が大幅に上昇したため、管路事業全体の予算配分の見直しを行いました。 ・このため、基幹管路更新、配水支管更新それぞれ計画していた工事発注件数の調整を行ない、調整後は予定通り工事発注を行なった結果、耐震適合率は概ね目標通りとなりました。 ・基幹管路については、既設管路ルートでの更新が困難なため、別ルートにより更新を進めたため延長が増えた。このため、効率性評価として用いるには、馴染まないことから、当初計画延長により評価を行ないます。			・工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、事業の優先度を考慮し、配水支管更新延長は事業費の一部を基幹管路更新に充当したため、基幹管路の更新延長はほぼ目標に達したものの、配水支管更新延長は、目標に達しませんでした。 なお、「Ⅲ-2 管路施設の計画的更新」の評価シートにおいて、基幹管路と配水支管の更新延長実績が目標を下回っているにも拘らず、本シートの管路耐震適合率が目標を達成した理由は、管路耐震適合率の算出においてⅢ-2の各更新延長だけでなく、新規給水要望や他事業関連工事などによる布設延長が含まれており、これらの延長が増加したことによります。			・積算基準の変更および市街地工事による事業費の増加により、漏水事故で影響が大きい基幹管路更新を優先して管路事業全体の予算配分の見直しを行いました。 ・マスタープランの更新計画延長に対しては、工事難易度が高まったことによる事業費の増加等により目標に達しませんでした。		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	1点	D	作業効率	1点	D
	外的要因加点	1点	5点/10点	外的要因加点	1点	4点/10点	外的要因加点	1点	4点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	確実な管路更新により、老朽化管路率・老朽化基幹管路率は減少し、管路耐震適合率・基幹管路耐震適合率は向上しています。 漏水事故の未然防止を図り、安定給水を確保するために、今後も計画的な更新を進めていきます。			管路施設の耐震化については、今後も効率的に進めるため老朽化管路の更新に併せて計画的に進めていきます。			管路施設の耐震化については、大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、断水時に影響の大きい老朽化基幹管路更新を優先して老朽化管路の更新に併せて計画的に進めていきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	改善・見直し	改善・見直し
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	大規模地震発生に備え、耐震化の推進に努めること。工事単価の上昇および市街地工事による事業費の増加により、管路事業全体の予算配分を見直し、配水支管更新の事業費の一部を、基幹管路更新へ充当したことは、限られた財源の中でやむを得ないと思われる。厳しい財政事情の中ではあるが、より効率性を追求し早期更新が可能となるよう努めること。	限られた財源の中、事業の計画通りの進捗が困難であることは理解するが、管理施設の耐震性の向上は市民生活の機能維持の面から極めて重要であるため、適正な範囲内において、然るべき額の事業費を確保し、着実な事業の推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV—3	重要施設向け配水管の耐震化	所管課	計画整備課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要							
【事業の目的】		災害時に早急な対策・復旧計画の策定が求められる行政機関や、被災した市民の生命に係る救急医療施設などの重要施設向け配水管の耐震化を優先的に進め、被災対応の充実を図ります。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)		27年度		28年度		29年度	
		重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～36年度において 行政機関6施設 医療機関26施設に向けた配水管を耐震化 (累計:行政機関12施設 医療機関42施設) 平成27年度 医療機関3施設(累計:行政機関6施設 医療機関19施設)		重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～36年度において 行政機関6施設 医療機関26施設に向けた配水管を耐震化 (累計:行政機関12施設 医療機関42施設) 平成28年度 行政機関2施設(累計:行政機関8施設 医療機関19施設)		重要施設に位置づけた市内の行政機関および救急医療機関への供給ルートである配水管を優先的に耐震管に入れ替えます。 平成27年度～36年度において 行政機関6施設 医療機関26施設に向けた配水管を耐震化 (累計:行政機関12施設 医療機関42施設) 平成29年度 医療機関4施設(累計:行政機関8施設 医療機関23施設)	

②過程										
【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	263,015,034			415,045,240			376,432,844		
	執行額(b)	255,096,365			399,835,052			342,014,130		
	執行率(%) (b)/(a)	97%			96%			90.9%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	2.7人	2.7人		4.0人	4.0人		3.0人	3.0人	
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年	1年	100%
	単位あたりの 作業量(c/d) (1年間の従事職員数)	2.7人/年	2.7人/年	(イ/ア)	4.0人/年	4.0人/年	(イ/ア)	3.0人/年	3.0人/年	(イ/ア)

③所管課分析評価														
■結果・効果														
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度						
	耐震化完了重要施設数(累計) ・行政機関 6施設 ・医療機関 16施設	◆耐震化完了重要施設数(累計) ・行政機関 6施設 ・医療機関 18施設注 ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 0施設 ・医療機関 3施設:新潟西蒲メディカルセンター病院、 新潟脳外科病院、木戸病院 (年度内完了施設:新潟西蒲メディカルセンター病院) ※事業の進捗は、工事の発注により計画管理しています。評価はこの数値により行います。 注:本事業である「重要施設向け耐震化工事」以外の支管更新工事により、医療機関向け配水管の耐震化が完了した施設が今年度1施設ありました。(大森内科医院)			◆耐震化完了重要施設数(実際に工事が完了した施設数の累計) ・行政機関 8施設(H28年度 江南区役所、秋葉区役所完了) ・医療機関 20施設(H28年度 新潟脳外科病院、木戸病院完了) ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 2施設:江南区役所、秋葉区役所 ・医療機関 1施設:県立がんセンター新潟病院(H29年度完了予定)			◆耐震化完了重要施設数(実際に工事が完了した施設数の累計) ・行政機関 8施設(H29年度 完了) ・医療機関 23施設(H29年度 県立がんセンター新潟病院、 信楽園病院附属有明診療所、 聖園病院完了) ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数※ ・行政機関 0施設 ・医療機関 4施設:県立がんセンター新潟病院 信楽園病院附属有明診療所 聖園病院 山東第二病院(H29年度発注:H30年度へ繰越) ※事業の進捗は、工事の発注により計画管理しています。評価はこの数値により行います。						
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		
		重要施設向け配水管の耐震化	1点			重要施設向け配水管の耐震化	2.0点			重要施設向け配水管の耐震化	1点			
		平均(A)	1.0点			平均(A)	2.0点			平均(A)	1.0点			

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
重要施設向け 配水管の耐震化 ※評価指標の進捗は、 工事の発注により行う	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
	3施設	2施設	4施設	3施設(見込み)		100%	3点	3施設(見込み)		150%	5点	4施設(見込み)		100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	3施設	5施設	9施設	3施設(見込み)		100%	3点	6施設(見込み)		120%	5点	10施設(見込み)		111%	5点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行、人員体制については概ね目標通りに事業を進めることができました。 ・今年度は入札不調などの理由により繰り越した工事があり、年度内で完了しない施設がありました。しかし予定された工事については、全て発注を行ないました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・予定された施設数以上に工事発注を行ない、目標通りに事業を進めることができました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行、人員体制については概ね目標通りに事業を進めることができました。 ・今年度は入札不調などの理由により繰り越した工事があり、年度内で完了しない施設がありました。しかし予定された工事については、全て発注を行ないました。 		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の繰越により、年度内で完了しない施設がありました。今後は、早期の工事発注に取り組み、繰越が無いように取り組む必要があります。 ・計画的な事業実施により、着実に配水管の耐震化が完了した重要施設が増えています。重要施設向け配水管の耐震化は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に事業を進めます。 			<ul style="list-style-type: none"> ・重要施設向け配水管の耐震化は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に事業を進めます。 			<ul style="list-style-type: none"> ・工事の繰越により、年度内で完了しない施設がありました。今後は、早期の工事発注に取り組み、繰越が無いように取り組む必要があります。 ・重要施設向け配水管の耐震化は、災害時の対策として重要な取り組みであることから、今後も計画的に事業を進めます。 		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	5点	A	進捗度	5点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持		維持		維持	
	経営審議会総評		経営審議会総評		経営審議会総評	
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		重要施設向け配水管の耐震化は、震災時のことを考えると重要な事業である。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。		引き続き、震災発生時における被災対応拠点施設の機能向上を図るために、計画に沿って事業を推進すること。	

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-4	配水管網のブロック化の推進	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故、災害時の被害範囲の極小化や復旧の迅速化を図るため、配水幹線の更新や関連事業との整合を図りながら、小ブロック(135ブロック)の構築を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度 34年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・平成27年度:10小ブロックの構築	28年度 34年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・平成28年度:5小ブロックの構築	29年度 34年度末までに135の小ブロック構築を完了する ・平成29年度:12小ブロックの構築

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b)/(a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	0.6人	0.5人	83%	0.7人	0.1人	14%	0.3人	0人	0%
	期間(d) (従事期間)	1年	1年		1年	1年		1年		
	単位あたり の作業量(c/d)	0.6人/年	0.5人/年		0.7人/年	0.1人/年		0.3人/年	0人/年	
(1年間の従事職員数)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績 小ブロック構築率 74.8%(101/135)	27年度 小ブロック構築数 8ブロック ・小ブロック構築率 80.7%(109/135) 平成26年度の管路整備において、平成27年度実施予定の2小ブロックを先行して構築したことから、平成27年度は8小ブロックの構築となりました。			28年度 小ブロック構築数 1ブロック ・小ブロック構築率 81.5%(110/135) 他事業工事の遅延や、予定外に発生した大口需要者の工場移転に伴う配水管布設替えを優先したことなどから、必要な管網整備を行うことができず、平成28年度は1小ブロックの構築にとどまりました。			29年度 小ブロック構築数 0ブロック ・小ブロック構築率 81.5%(110/135) 平成29年度は、小ブロック構築済みの地域に管路整備が集中したため、布設替えに伴う小ブロックの構築には至りませんでした。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	小ブロック構築数		1点		小ブロック構築数		0点		小ブロック構築数		0点	
	平均(A)		1点		平均(A)		0.0点		平均(A)		0.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
小ブロック構築率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	80.7%	84.4%	93.3%	80.7%	100%	3点	81.5%	97%	3点	81.5%	87%	2点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	1点
	80.7%	84.4%	93.3%	80.7%	100%	3点	81.5%	97%	3点	81.5%	87%	2点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施されるため、事業の性質上、予算の計上及び執行はありませんでした。 また平成27年度は、北営業所所管区域において、平成26年度のJO3ブロック構築作業に伴い、隣接するJO6ブロックの構築がほぼ完了したことから、管路整備を行うことなく区域設定仕切弁覆の設置により、効率的に1カ所の小ブロックを構築することができました。			小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施されるため、事業の性質上、予算の計上及び執行はありませんでした。 また平成28年度は、他事業工事の遅延や、予定外に発生した大口需要者の工場移転に対応するための配水管布設替えを優先したことなどから、必要な管網整備を行うことができず、1小ブロックの構築にとどまりました。			小ブロック構築のための管路整備は、他の管路整備事業に併せて効率的に実施されるため、事業の性質上、予算の計上及び執行はありませんでした。 また平成29年度は、小ブロック構築済みの地域に管路整備が集中したこともあり、布設替えに伴う小ブロックの構築には至りませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	ブロック化は、事故・災害時における被害範囲の極小化や、迅速な復旧を行うために有効な手段です。 今後も計画的にブロック構築を進めていきます。			配水管網のブロック化は、事故・災害時における被害範囲の極小化や、迅速な復旧を行うために有効な手段です。 平成28年度の結果を踏まえ、計画の見直しを行いながら小ブロック構築を進めていきます。			配水管網のブロック化は、事故・災害時における被害範囲の極小化や、迅速な復旧を行うために有効な手段です。 来年度以降についても、当面小ブロック構築済み地域での管路整備が集中する見込みであり、計画の見直しを含めた検討を行いながら小ブロック構築を進めていきます。 局の施策上、街中の老朽管路の布設替えが喫緊の課題であり、小ブロック構築に優先して整備事業を進める事情がある点も考慮して外的要因加点を行うものです。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	2点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	2点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	1点	5点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV—5	大ブロック間の相互連絡管の整備	所管課	管路課
----	----	------------	--------	------	-----------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時のバックアップを目的とし、大ブロック(各浄配水場給水区域)間に相互連絡管を整備し、安定給水の向上を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～平成32年度 平成27年度1,110m	28年度 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～平成32年度 平成28年度450m	29年度 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=6,880m 整備期間 平成27年度～平成32年度 平成29年度1,040m

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	261,360,000			199,368,000			404,352,000		
	執行額(b)	243,752,760			135,932,040			413,549,581		
	執行率(%) (b) / (a)	93%			68%			102.3%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (担当者数)	1.2人	1.2人		1.2人	1.2人		1	1人	
	期間(d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年	1年	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (1年間の従事職員数)	1.2人/年	1.2人/年	(イ/ア)	1.2人/年	1.2人/年	(イ/ア)	1人/年	1人/年	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=761.1m	27年度 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=1,074.8m 目標値の1,110mは概算値であり、工事としては予定路線を全て実施 できました。 またこの他、債務負担行為として平成28年度竣工予定の1路線、約539 mの工事に着手しました。	28年度 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・国道460号線 φ500mm L=530m 目標値の450mは概算値であり、工事としては予定路線を全て実施で きました。 またこの他、繰越工事として平成29年度竣工予定の1路線、約475mの 工事に着手しました。	29年度 巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備 ・市道 φ500mm L=1,068.7m 目標値の1,040mは概算値であり、工事としては予定路線を全て実施 できました。								
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%～ 100%以下	予定を下回る 90%未満～
	連絡管整備延長		1点		連絡管整備延長	2点			連絡管整備延長	2点		
	平均(A)		1点		平均(A)	2.0点			平均(A)	2.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
相互連絡管整備延長	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1,110m	450m	1,040m	1,074.8m	97%	3点	530m	118%	5点	1068.7m	103%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	1,110m	1,560m	2,600m	1,074.8m	97%	3点	1,604.8m	103%	4点	2673.5m	103%	4点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	現場環境が良好(地方部)で作業効率が高く、予定通りの予算執行及び作業量により事業を実施できました。			現場環境が良好(地方部)で作業効率が高く、予定通りの予算執行及び作業量により事業を実施できました。			現場環境が良好(地方部)で作業効率が高く、予定通りの予算執行及び作業量により事業を実施できました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	5点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	4点	A	作業効率	4点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	9点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	平成20年度から36年度までの17年間を整備期間として設定した連絡管整備事業の内、平成27年度から32年度までの工事の約16%が終了した。 事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿った施工を図ります。			平成20年度から36年度までの17年間を整備期間として設定した連絡管整備事業の内、平成27年度から32年度までの工事の約23%が終了しました。 事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。			平成20年度から36年度までの17年間を整備期間として設定した連絡管整備事業の内、平成27年度から32年度までの工事の約39%が終了しました。 事故・災害発生時のバックアップ機能を向上させるため、今後も計画に沿って事業を実施していきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	5点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	4点	A	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	9点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	平成30年1月寒波発生時における広域の漏水被害および断水発生の際に、相互連絡管の機能の重要性は改めて認識されたものと考えている。引き続き計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	災害対策・体制の強化	事業・取組名	IV-6	事故・災害時における復旧体制の強化	所管課	経営管理課
----	----	------------	--------	------	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時などの非常時において、迅速かつ確に応急給水する体制や、水道施設を早期に復旧する体制の強化を図るとともに、応急給水設備の整備や、給水や復旧に係る各種災害協定や関係団体・地域住民との連携の強化などを図ります。						
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度		28年度		29年度		
	各種災害時マニュアルの更新 ・各種災害時マニュアル・計画等の見直し、拡充および訓練の実施をします。 応急給水設備の整備 ・満願寺浄水場の給水車用常設注水設備、住民用応急給水設備の整備を行います。 災害時の協力体制および連携体制の充実 ・お客さまコールセンターとの災害時連携体制強化のため協力体制の検討・構築をします。 ・協力体制構築に向けた市長部局との協議をします。 ・災害時支援協力員や地域住民との応急給水訓練の実施。		各種災害時マニュアルの更新 ・各種災害時マニュアル・計画等の見直し、拡充および訓練の実施をします。 応急給水設備の整備 ・戸頭浄水場の住民用応急給水設備の整備を行います。 災害時の協力体制および連携体制の充実 ・協力体制構築に向けた市長部局との協議をします。 ・災害時支援協力員や地域住民との応急給水訓練の実施。		各種災害時マニュアルの更新 ・各種災害時マニュアル・計画等の見直し、拡充および訓練の実施をします。 応急給水設備の整備 ・巻浄水場においては、隣接する既存施設を活用することで、整備済となっています。→事業中止 災害時の協力体制および連携体制の充実 ・協力体制構築に向けた市長部局との協議をします。 ・災害時支援協力員や地域住民との応急給水訓練の実施。		

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	12,560,460			3,749,571			451,006		
	執行額(b)	9,426,560			1,447,334			340,653		
	執行率(%) (b) / (a)	75%			39%			75.5%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	398.4	398.4		368.8	368.8		26.8	26.8	
	時間(h)									
	人員(d)	4人	4人	100%	4人	4人	100%	4人	4人	100%
	作業従事職員数									
単位あたりの作業量(c/d)	99.6	99.6		92.2	92.2		6.7	6.7		
h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・各マニュアルの見直しを行いました。 ・応急給水設備の整備、更新(青山浄水場、秋葉配水場、金津配水場)を行いました。 ・岡山市水道局と災害時燃料供給の相互協力に関する覚書を締結しました。/公益財団法人新潟水道サービスと災害時における応急対策委託業務に関する協定書を締結しました。	・各マニュアル等の見直しを行い充実を図りました。(危機事象対応マニュアル、地域防災計画) ・BCPに基づく各対策部の応急対策マニュアルを作成し、災害対応の強化を図りました。 ・満願寺浄水場の給水車用常設注水設備、住民用応急給水設備が完了し体制強化が図られました。 ・お客さまコールセンターとの災害時連携体制強化のため他事業体の調査及び検討を行いました。 ・応急給水訓練実施(南区2箇所、江南区、1箇所)			・危機管理マニュアル類の見直しを行い充実を図りました。 ・戸頭浄水場の住民用応急給水設備が完了し、応急給水体制の強化が図られました。(なお、巻浄水場(当初、平成29年度に整備予定)においては隣接する既存施設を活用することで、整備を行わないこととしました。) ・他団体との災害時応援協定の締結(地方公共団体等1件、民間団体等2件) ・応急給水訓練実施(南区2箇所、江南区1箇所)			・危機管理マニュアル類の見直しを行い充実を図りました。 ・他団体との災害時応援協定の締結(民間団体等3件) ・巻浄水場の住民用応急給水設備は、隣接する既存施設を活用することで、整備済となりました。 ・地域住民等と連携した応急給水訓練実施(南区1箇所、東区1箇所)				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	各種災害時マニュアルの更新		1点		各種災害時マニュアルの更新		1点		各種災害時マニュアルの更新		1点	
	応急給水設備の整備		1点		応急給水設備の整備		1点		応急給水設備の整備		1点	
	災害時の協力体制および連携体制の充実		1点		災害時の協力体制および連携体制の充実		1点		災害時の協力体制および連携体制の充実		1点	
平均(A)		1点		平均(A)		1点		平均(A)		1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
各種マニュアルの 作成・見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績	3点		実績	3点		実績	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
給水車用常設注水設備 の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1箇所	—	—	1箇所(満願寺)	100%		3点	—		—	—	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
住民用応急給水設備 の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1箇所(満願寺)	1箇所(戸頭)	1箇所(巻)	1箇所(満願寺)	100%		3点	1箇所(戸頭)		100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1箇所	2箇所	3箇所	1箇所	100%		3点	2箇所		100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1箇所	2箇所	3箇所	1箇所	100%		3点	2箇所		100%	3点	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応の強化のため、満願寺浄水場に常設型の給水車注水設備及び応急給水設備を整備しました。 ・事業に対する執行額は、予算額とほぼ同等程度となりました。今年度予定されていた事業は、計画通り実施され、予算に対する執行額も予定の範囲内に収まる金額となりました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応の強化のため、戸頭浄水場に住民用応急給水設備を整備しました。(なお、巻浄水場(当初、平成29年度に整備予定)においては隣接する既存施設を活用することで、整備を行わないこととしました。) ・事業に対する執行額は、戸頭浄水場の整備において地下障害物の移送により管路延長の工事費が抑えられたため、予算額の約4割程度となりました。今年度予定されていた事業は、計画通り実施され、予算に対する執行額も予定の範囲内に収まる金額となりました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応の強化のため、巻浄水場の住民用応急給水設備は、隣接する既存施設を活用することで、整備済みとなりました。 ・事業に対する執行額は、予算額とほぼ同等程度となりました。今年度予定されていた事業は、計画通り実施され、予算に対する執行額も予定の範囲内に収まる金額となりました。 		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・危機事象対応マニュアル及び地域防災計画の見直しを行ったことに加えて、BCPに基づく各対策班の応急対策マニュアルを作成し、災害時対応の充実化を行いました。 ・満願寺浄水場に給水車用の常設型注水設備及び住民用の応急給水設備を整備し、注水設備については今年度で完了しました。 ・災害時における電話受付体制の強化のため、お客さまコールセンターとの連携手法について、他事業体での取り組み状況の調査を行うとともに、局内における電話受付体制の検討を行いました。 ・地域住民との災害時における連携を図るため、南区及び江南区の自治会と応急給水訓練を実施しました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・策定済み全ての危機管理マニュアルの見直しを行い、災害時対応力の強化が図れました。 ・戸頭浄水場の住民用応急給水設備について、今年度で完了しました。 ・災害時における他団体との連携強化として、①名古屋市上下水道局、②教井産業株式会社・株式会社クボタ東京本社、③豊工業株式会社との各種応援協定の締結を行いました。 ・地域住民との災害時における連携を図るため、南区及び江南区の自治会と応急給水訓練を実施しました。 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画や危機管理マニュアル類の見直しを行い、災害時対応力の強化が図れました。 ・巻浄水場の住民用応急給水設備は、隣接する既存施設を活用することで、整備済みとなりました。 ・災害時における他団体との連携強化として、①株式会社荏原製作所北陸支社、②第一環境株式会社、③新潟市海洋河川文化財団との各種応援協定の締結を行いました。 ・地域住民との災害時における連携を図るため、①南区の自治会、②東区の住民との応急給水訓練を実施しました。 		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	他事業体や民間企業との災害時応援協定を積極的に締結している。また、今年度も応急給水訓練を定期的実施している。市民にとって災害に備えた水道局の姿勢が見え安心材料となる。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、平成29年度は平成 30年1月に寒波に伴う広域の漏水被害および断水が発生したこともあり、必要に応じて事故・災害時の復旧体制について継続的な自己点検、および必要に応じた改善を講じるよう努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-1	アセットマネジメントによる適正な資産管理	所管課	計画整備課
----	---	---------	--------	-----	----------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	人口減少に伴い給水収益の大幅な減少が見込まれる中、水道事業を安定して持続していくために、中長期的な視点に立って、施設更新需要の見直しについて検討し、着実な更新投資を行う必要があります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 浄水場単位の施設情報を電子化、施設・設備の修繕履歴等の統一的管理 方策の調査・検討(平成27年度～継続的に実施) 平成27年度:各浄水場の修繕・更新台帳及び竣工図等保管状況調査	中長期的な更新需要の見直し 平成28年度:水道施設の中長期的解決課題の再整理、更新需要の見直しとア セットマネジメントによる健全度評価および財政収支見通しの再検証(平成29年度 からの継続実施計画を前倒しする) 施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 浄水場単位の施設情報を電子化、施設・設備の修繕履歴等の統一的管理方策の 調査・検討(平成27年度～継続的に実施) 平成28年度 ・汎用データベースソフトの利用可能性と導入・維持管理コスト調査 ・工事竣工図面等の電子化(PDF化など)と供用サーバへの保管ルールの検討	中長期的な更新需要の見直し 更新需要の見直しと財政収支見通しの検討を継続的に行うため、アセット マネジメントワーキンググループで健全度評価の在り方を検討 施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 浄水場単位の施設情報の電子化、施設・設備の修繕履歴等の統一の 管理方策の調査・検討について、アセットマネジメントワーキンググルー プで継続的に実施

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働人数)	0.6人	0.6人	100%	2.4人	2.4人	100%	4.4人	4.4人	100%
	期間(d) (実働期間)	6カ月	6カ月		8カ月	8カ月		12カ月	12カ月	
	単位あたり の作業量(c/d)	0.1人/月	0.1人/月	(イ/ア)	0.3人/月	0.3人/月	(イ/ア)	0.4人/月	0.4人/月	(イ/ア)
(月あたりの作業人数)	(ア)	(イ)	(ア)		(イ)	(ア)		(イ)		

③所管課分析評価
■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	-	施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 浄水場単位の施設・設備の更新・修繕履歴と竣工図等の保管・利用状況 を調査しました。また、新マスタープラン整備工事竣工図等の電子化と統 一的利用化に向け、データ保管用の現有共用サーバ容量の調査、増設 もしくは専用等の必要性とその可否について調査しました。			中長期的な更新需要の見直し 中長期的な水道施設整備の課題を整理するとともに、更新需要の見直し や施設の健全度評価等に継続的に取り組んでいくため、アセットマネジ メントワーキンググループにおいて、施設評価方法の検証に着手しまし た。 施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 施設修繕履歴等の整備・活用には、組織的な活動による調査・検討が必 要なことから、組織横断的なアセットマネジメントワーキンググループを 立ち上げ、施設情報や修繕履歴等の統一的管理に向けて、必要となる 情報やその管理方法についての検討を開始しました。			中長期的な更新需要の見直し 更新需要の見直しと財政収支見通しの検討を継続的に行うため、アセット マネジメントワーキンググループで健全度評価手法の検討を進めてい ます。 また、効率的・効果的な施設更新を進めるため、前期での課題を踏ま え、中期以降の整備内容及びスケジュールの見直しを実施しました。 施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備 今後の資産管理において必要となる情報やその管理方法について、ア セットマネジメントワーキンググループで検討を進めています。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備	1点		中長期的な更新需要の見直し	1点		中長期的な更新需要の見直し	1点	施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備	1点	
					施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備	1点		施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備	1点			
	平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
中長期的な更新需要の見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	—	実施	—	—	—	一部実施	一部実施	2点	—	—	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	—	—	—	—	—	—	2点	—	—	3点
施設情報の電子化 ・ 施設修繕履歴の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	—	実施	実施	3点	実施	実施	3点	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	現況の調査にあたり必要とする人数通りで調査・検討の実施できました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			今年度の取り組みにあたり、調査・検討を一部実施しました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			今年度の取り組みにあたり、予定通り検討を実施しました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	浄水場単位の施設・設備の更新・修繕履歴と竣工図等の保管・利用状況を調査した結果、浄水場毎に修繕履歴等の台帳が異なっていること、竣工図面等について一部紙ベースで保管・管理されている実態が把握でき、今後のアセットマネジメント(資産管理)の継続的改善に向けて統一の必要性を確認できました。また、共有サーバの容量を調査した結果、増設や専用サーバを設けることなく現状利用が適切との検討結果を得ることができ、電子データ保管の方向性を得ることができました。			アセットマネジメントによる適正な資産管理を図っていくため、計画部門・管路部門・浄水部門の担当で構成するアセットマネジメントワーキンググループを立ち上げ、アセットマネジメントの継続的改善(PDCA)を見据えた施設情報整備に関する取り組みの道筋を付けることができました。			更新計画の見直しに関し、より効率的・効果的な施設更新を進めるため、前期での課題を踏まえ、中期以降の整備内容及びスケジュールの見直しを実施しました。アセットマネジメントの継続的改善(PDCA)を見据えて、アセットマネジメントワーキンググループにおいて、健全度評価、情報管理の検討を進めています。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-2	定員・給与の適正化	所管課	総務課
----	---	---------	--------	-----	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	独立採算で運営する水道事業は、最小のコストで最大の効果を得るよう努める必要があります。健全な運営のために求められる人的資源の最適化を常に追求しつつ、事業運営の効率化を推進します。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度 定員の適正化 ・業務の見直しや民間委託などにより、定員の適正化を進めます。 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施します。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	28年度 定員の適正化 ・業務の見直しや民間委託などにより、定員の適正化を進めます。 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施します。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。	29年度 定員の適正化 ・業務の見直しや民間委託などにより、定員の適正化を進めます。 ・職員数については、再任用職員を含めた定員管理を実施します。 給与の適正化 ・職員給与については、市長事務部局および他政令市の状況に準じた見直しを図ります。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	480時間	480時間		480時間	480時間		480時間	480時間	
	人員(d) 作業従事職員数	2人	2人	100%	2人	2人	100%	2人	2人	100%
	単位あたり の作業量(c/d)	240時間	240時間		240時間	240時間		240時間	240時間	
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理を行いました。 年度末職員数 345名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・平成28年度より委託する新設調査業務について業務分析を行い、適正な人員を削減しました。 ・平成29年度より委託予定の料金徴収部門について調整を進めるとともに、今後増える施設更新等に対応する適正定員について検討を行いました。 ・年度末職員数 342名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・平成29年度より委託する水道料金等収納業務について業務分析を行いました。 ・新設調査業務を委託化し適正な人員を削減しました。 ・年度末職員数 337名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。	定員の適正化 ・水道料金等収納業務を委託化し適正な人員を削減しました。 ・年度末職員数 318名 給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。								
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	定員の適正化	2点			定員の適正化	2点			定員の適正化	2点		
	給与の適正化		1点		給与の適正化		1点		給与の適正化		1点	
	平均(A)		1.5点		平均(A)		1.5点		平均(A)		1.5点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)	実績(D)		達成度(B/D)
職員数(人) (年度末職員数≦職員定数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(B/D)	外的要因 加点
	346人	346人	330人以下	342人	101%	4点	337人	103%	4点	318人	104%	4点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	4点	-	-	4点	-	-	4点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、時機を逸することなく適正に行うことができました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 (職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)			・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、時機を逸することなく適正に行うことができました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 (職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)			・職員定数については、今後の業務見通しや再任用職員数の増減等を考慮し、次年度体制を見据えた中で、時機を逸することなく適正に行うことができました。 ・給与改定については、市長部局の改正に連動して、遅滞なく実施することができました。 (職員定数、給与とも、経費を伴う事業的側面を有しないことから、予算執行率を「予定どおり」とみなして算出します。)		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・職員定数346人のところ、年度末職員数342人であったため、定数管理は適正に行うことができました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。			・職員定数346人のところ、新設調査業務委託の実施に伴い2人減員するなど、年度末職員数は337人となり、定数管理は適正に行うことができました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。			・職員定数346人のところ、水道料金等収納業務委託等の実施に伴い18人減員するなど、年度末職員数は318人となり、定数管理は適正に行うことができました。 ・給与は市長部局の改正のタイミングに併せ、同じ水準で見直しを行いました。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。今後も委託に伴い職員数の減少が見込まれるが、危機管理の面から適正な定数にも留意すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。ただし、危機管理の面から適正な定数にも留意すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	経営基盤の強化	事業・取組名	V-3	業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	所管課	営業課
----	---	---------	--------	-----	---------------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を図るため、新たな民間委託の導入に向けた検討を進め、効果が見込める業務について委託化に取り組みます。特に、水道料金等収納業務については、平成29年度からの委託化に向けた準備を進めます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	業務委託の実施に向けた検討や準備 ・基本方針を決定します。 ・準備計画の策定をします。	業務委託の実施に向けた検討や準備 ・業者選定・契約をします。 ・業務引き継ぎ準備をします。	業務委託実施 委託後の評価と改善

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			94,100,000		
	執行額(b)	0			0			94,100,000		
	執行率(%) (b) / (a)	-			-			100.0%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働月数)	12ヶ月	12月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%	12ヶ月	12ヶ月	100%
	人員(d) 作業従事職員数	10人	10人		10人	10人		7人	7人	
	単位あたり の作業量(c/d)	1.2ヶ月/人	1.2月/人	1.2ヶ月/人	1.2月/人	1.7ヶ月/人	1.7ヶ月/人			
	(1人あたりの作業量)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・水道事業の経営責任を確保しながら、経済的かつ効率的観点から業務委託の委託範囲について、費用対効果及びお客さまサービス向上を考慮し、決定しました。	業務委託の実施に向けた検討や準備 ・基本方針を決定しました。 ・準備計画の策定をします。			業務委託の実施に向けた検討や準備 ・公募型プロポーザル方式により業者を選定し、委託契約を行いました。 ・29年度からの運用に向けて、委託契約業者との業務引き継ぎ準備を行いました。			業務委託の実施及び委託後の評価と改善 ・委託契約業者へ業務委託を実施しました。 ・委託後、業者との定例会議を毎月開催し業務評価・改善を行いました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
			1点				1点					1点
			1点				1点					1点
	平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
水道料金等収納業務 委託の実施 H27:基本方針の決定・準備 H28:準備・業者選定 H29:実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	-	-	-	-	-	3点	-	-	3点	-	-	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	基本方針の決定及び準備計画の策定に加え、課題整理等を行うため、検討委員会及び分科会を設け定期的会議を開催し、目標どおり達成しました。事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			委託化実施計画に沿って、仕様書、実施要領、業務手順書等を醸成策定し、業務移行準備を考慮して早期に公募型プロポーザル方式により業務委託業者を決定しました。事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			計画的に業務移行及び引き継ぎを行ったことで、業務委託実施を目標通り達成できました。予算に対する執行額は予定されていた金額で実施しました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	基本方針を決定し、平成29年度の委託化実施に向けた計画及び準備(料金関係職員の意見を取込んだ仕様書、実施要領、業務手順書等の策定など具体的準備を行いました。平成28年度においては、目標とする更なる委託化の準備と委託業者の決定に向けた諸種整備を行っていきます。			委託化実施に向け、受託業者を決定し契約を行い、余裕をもった業務移行準備及び引き継ぎを行いました。			経済的かつ効率的にお客さまサービスの維持向上を目的として、収納業務の民間委託を実施することができました。今後は、委託業者を含めた定例会議を継続することで、業務評価を行い、更なる業務改善を実施していきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	V経営基盤の強化	事業・取組名	V-4	遊休資産の有効活用	所管課	経営管理課
----	---	----------	--------	-----	-----------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	施設統廃合計画により廃止となった浄配水場等の遊休資産を有効活用することにより、財政基盤の強化を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度 ・施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 情報収集・調査・研究をします。 ・太陽光発電用地としての有償貸付(20年間)[長戸呂浄水場跡地、魚田配水場跡地、西川浄水場跡地](平成26年度現在) 設置工事の開始、発電の開始をします。	28年度 ・施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 情報収集・調査・研究をします。 ・太陽光発電用地としての有償貸付(20年間)[長戸呂浄水場跡地、魚田配水場跡地、西川浄水場跡地](平成26年度現在) 設置工事の開始、発電の開始をします。 →事業中止	29年度 ・施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 引き続き、情報収集・調査・研究をします。 ・太陽光発電用地としての有償貸付(20年間)[小須戸浄水場跡地、岩室浄水場跡地、月湯配水場跡地、旧新津浄水場跡地](平成28年度現在) 設置工事の開始、発電の開始をします。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	91,692		0		0				
	執行額(b)	0		0		0				
	執行率(%) (b)/(a)	0%		-		-				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	177.6	177.6		177.6	177.6		177.6	177.6	
	時間(h)									
	人員(d)	2人	2人	100%	2人	2人	100%	2人	2人	100%
	作業従事職員数									
単位あたりの作業量(c/d)	88.8	88.8		88.8	88.8		88.8	88.8		
h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 ・平成26年度に、当局が所有する廃止浄水場跡地について、太陽光発電の実施を土地利用の条件として有償貸付を行う「民間事業者による太陽光発電事業」を公募型プロポーザル方式で募集を行い、発電事業者を決定、基本協定を締結しました。しかし、固定価格買い取り制度の見直しに伴う事業収支計画の変更により、発電事業者側から事業性が見込めないと申し出があったことから、本事業の中止を判断しました。 ・これまでの取組み内容と課題を整理し、入札参加者確保の可能性の高い遊休資産について、適正な売却価格の算定に着手しました。 ・今後は、遊休資産の有効活用に向けた情報収集や調査・検討を継続して行うとともに、遊休資産の売却も視野に入れて検討を行います。			施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 ・施設有効活用に向けた情報収集・調査・研究に取組みました。その中で、市が推奨する再生可能エネルギー事業において、4箇所[小須戸浄水場跡地、岩室浄水場跡地、月湯配水場跡地、旧新津浄水場跡地]の遊休資産を太陽光発電用地として検討を進めています。 ・西川浄水場跡地の黒松13本の売却を行いました。 ・今後も、遊休資産の有効活用に向けた情報収集や調査・検討を継続して行うとともに、遊休資産の売却も視野に入れて検討を行います。			施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続 ・施設有効活用に向けた情報収集・調査・研究に取組みました。その中で、市が推奨する再生可能エネルギー事業において、3箇所[小須戸浄水場跡地、岩室浄水場跡地、月湯配水場跡地]の遊休資産を太陽光発電用地として賃貸借契約を締結しました。 ・今後も、遊休資産の有効活用に向けた情報収集や調査・検討を継続して行うとともに、遊休資産の売却も視野に入れて検討を行います。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続	1点		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続	1点		施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の継続	1点			
		太陽光発電用地としての有償貸付		0点				太陽光発電用地としての有償貸付	1点			
	平均(A)	0.5点			平均(A)	1点			平均(A)	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度							
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点		
有効活用 の実施・協議・調整等 累計施設数	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点		
	3施設以上	1施設	1施設	0		0%	1点	0		0%	1点	3施設		300%	5点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)		1点	実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		0点
	3施設以上	4施設以上	5施設以上	0		0%	1点	0		0%	1点	3施設		60%	1点		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)		達成度(D/B)	外的要因 加点		
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			実績累計(E)		進捗度(E/C)		実績累計(E)		進捗度(E/C)		

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電事業の中止により、当初予定されていた予算の執行が不要となったため、予算の執行率は予定以下となり、計画に対する結果も予定以下となりました。 事業中止の判断は、固定価格買い取り制度の変更によるため、効率性が低下したやむ負えない理由に該当すると判断しました。 			<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、事業の性質上、予算計上・執行額はありませんでした。予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。 黒松売却については、一定の評価ができるものと判断しました。 			<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、事業の性質上、予算計上・執行額はありませんでした。進捗度においては、概ね、目標を達成することができましたが、旧新津浄水場跡地においては取り組み自体を再検討したいです。 		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	2点	C	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	1点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電事業の中止となったため、期待する結果は得られませんでした。今後は、売却に向けた需要を確認しながら、新たな遊休資産を有効活用する手法等を検討します。 事業中止の判断は、固定価格買い取り制度の変更によるため、有効性が低下したやむ負えない理由に該当すると判断しました。 			<ul style="list-style-type: none"> 当初予定していた物件について、入札を実施するまでには至りませんでした。市が推奨する再生可能エネルギー事業において、数力所の遊休資産を太陽光発電用地として検討を進めています。引き続き、遊休資産活用に向けた調査・検討を行っていきます。 			<ul style="list-style-type: none"> 市が推奨する再生可能エネルギー事業において、3力所の遊休資産を太陽光発電用地として、賃貸借契約を締結しました。引き続き、遊休資産活用に向けた調査・検討を行っていきます。 		
評価結果	達成度	1点	総合評価	達成度	1点	総合評価	達成度	5点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	1点	D	進捗度	1点	E	進捗度	1点	C
	外的要因加点	1点	3点/10点	外的要因加点	0点	2点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	改善・見直し	改善・見直し	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	太陽光発電事業者への有償貸付は未実施であったが、遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。 また、遊休資産保有によりコストが発生している場合、早めの売却判断も必要であることから、売却も含め新たな有効活用について、幅広い知見、情報収集、調査・研究を進め、財政基盤の強化に努めること。	遊休資産の有効活用は、経営基盤の強化を図るために有効な事業である。今まで以上に売却も含めた施設の有効活用実施に向けた検討を進め、新たな収入源確保に努めること。	新たな収入源の確保による経営基盤の強化のためにも、遊休資産の有効活用に向けた検討を進め、適正な事業推進に努めること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	V 経営基盤の強化	事業・取組名	V-5	時代に即した料金制度等の検討・実施	所管課	経営管理課
----	---	-----------	--------	-----	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水需要や財政収支の状況を踏まえ、将来にわたり安全な水の安定供給の持続が可能となるよう、維持管理・更新の時代に即した料金制度の検討を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 ・料金体系の調査研究、見直し案の検討 他事業体の料金体系の調査・研究をします。 ・料金改定の必要性、時期、水準の検討 調査・研究をします。	28年度 ・料金体系の調査研究、見直し案の検討 他事業体の料金体系の調査・研究をします。 ・料金改定の必要性、時期、水準の検討 調査・研究をします。	29年度 ・料金体系の調査研究、見直し案の検討 他事業体の料金体系の調査・研究をします。 ・料金改定の必要性、時期、水準の検討 調査・研究をします。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b)/(a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	22.2時間	22.2時間	100%	22.2時間	37.0時間	167%	22.2時間	22.2時間	100%
	人員(d) 作業従事職員数	2人	2人		2人	2人		2人		
	単位あたりの作業量(c/d) (1人あたりの作業時間)	11.1時間	11.1時間	(イ/ア)	11.1時間	18.5時間	(イ/ア)	11.1時間	11.1時間	(イ/ア)
	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	他政令市と県内市町村の料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)を行いました。	料金水準等の調査研究のための基礎資料とするため、他政令市と県内市町村の料金体系、料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)等を行いました。			料金水準等の調査研究のための基礎資料とするため、他政令市と県内市町村の料金体系、料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)等を行いました。また、新潟市の料金制度について現状と課題の整理を行いました。			料金水準等の調査研究のための基礎資料とするため、他政令市と県内市町村の料金体系、料金改定状況を調査し、口径別料金比較供給単価比較(政令市)等を行いました。当初予定しておりました見直し案は、財政収支予定から考えて見送りました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		料金体系の調査研究、見直し案の検討	1点		料金体系の調査研究、見直し案の検討	1点		料金体系の調査研究、見直し案の検討	1点			
		料金改定の必要性、時期、水準の検討	1点		料金改定の必要性、時期、水準の検討	1点		料金改定の必要性、時期、水準の検討	1点			
	平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
「水道料金算定要領」 に基づく 料金シミュレーション	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	調査研究	調査研究	調査研究 見直し案作成	実施	実施	3点	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。また、予算効率は、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証及び、新潟市の料金制度について現状と課題の整理を行いました。また、予算効率は、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたが、料金制度の現状と課題の整理が必要であったため作業効率は下がりました。			他政令市と県内市町村の料金改定状況等を調査し、比較検証を行いました。また、予算効率は、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	時代に即した料金制度等の検討のための、基礎資料の収集を行いました。また、重要な事業・取り組みであることから、持続可能な経営を構築することを目的に社会経済情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。			時代に即した料金制度等の検討のための、基礎資料の収集を行いました。また、重要な事業・取り組みであることから、持続可能な経営を構築することを目的に社会経済情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。			時代に即した料金制度等の検討のための、基礎資料の収集を行いました。また、重要な事業・取り組みであることから、持続可能な経営を構築することを目的に社会経済情勢や財政収支などを見据えながら、引き続き調査研究を行います。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	V	V経営基盤の強化	事業・取組名	V-6	水道事業経営審議会の効果的運用	所管課	経営管理課
----	---	----------	--------	-----	-----------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道事業経営審議会继续し、有識者や水道利用者などの第三者の意見や助言を事業運営に効果的に反映させます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 ・水道事業経営審議会の継続運営 継続運用と委員の選考を行います。	28年度 ・水道事業経営審議会の継続運営 継続運用と委員の選考を行います。	29年度 ・水道事業経営審議会の継続運営 継続運用と委員の選考を行います。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	737,337			360,320			474,532		
	執行額(b)	539,460			342,531			436,271		
	執行率(%) (b)/(a)	73%			95%			91.9%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	99.9時間	99.9時間	100%	99.9時間	99.9時間	100%	99.9時間	99.9時間	100%
	人員(d)	3人	3人		3人	3人		3人		
	作業従事職員数									
	単位あたりの 作業量(c/d)	33.3時間	33.3時間	(イ/ア)	33.3時間	33.3時間	(イ/ア)	33.3時間	33.3時間	(イ/ア)
(1人あたりの作業時間)	(ア)	(イ)	(ア)		(イ)	(ア)		(イ)		

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	審議会を11月と3月の2回開催しました。審議会の議事録は、会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。	水道事業経営審議会(2回/年)を開催し、意見、提言、助言をいただきました。また、新しい取組みとして平成27年度の新・マスタープランの事務事業に対する二次評価をしていただきました。また平成27年10月に公募委員2名の改選があり、新たに2名就任いただきました。			水道事業経営審議会(2回/年)を開催し、意見、提言、助言をいただきました。また、新しい取組みとして平成27年度の新・マスタープランの事務事業に対する二次評価をしていただきました。また平成28年9月及び平成29年度3月に委員の退任・新任があり、新たに2名就任いただきました。			水道事業経営審議会(3回/年)を開催し、意見、提言、助言をいただきました。審議会の議事録は、会議資料と合わせ、局ホームページに掲載しました。また平成29年10月に委員の改選(公募委員を含む)があり新任7名、再任3名就任いただきました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		水道事業経営審議会の継続運営	1点		水道事業経営審議会の継続運営	1点		水道事業経営審議会の継続運営	1点			
	平均(A)	1点			平均(A)	1点			平均(A)	1点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
新・マスタープラン 事業実施状況に対する 意見・提言の聴取と反映	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績	実施	3点	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	—	—	—	3点	—	—	3点	—	—	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	水道事業経営審議会を2回開催し、委員の改選も予定どおり実施できました。予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。			水道事業経営審議会を2回開催し、委員の新任依頼、欠員補充も滞りなく実施しました。予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。			水道事業経営審議会を3回開催し、公募委員を含む委員の改選も予定どおり実施できました。予算効率・作業効率も予定枠内となり、目標どおり達成しています。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	今年度は、水道事業経営審議会を2回開催し予算・決算及び旧マスタープランへの意見・提言をいただきました。また、新・マスタープランの評価方法について、意見・提言をいただき評価表及び評価方法などへ反映をしました。引き続き、水道事業経営審議会を開催し、意見や助言を事業運営に反映し、信頼される水道事業を目指します。			今年度は、水道事業経営審議会を2回開催し予算・決算及び、平成28年度「水道に関するアンケート調査」結果への意見・提言をいただきました。また、新しい取組みとして、平成27年度の新・マスタープランの事務事業に対する二次評価をしていただきました。引き続き、水道事業経営審議会を開催し、意見や助言を事業運営に反映し、信頼される水道事業を目指します。			今年度は、水道事業経営審議会を3回開催し予算・決算及び、平成28年度分の新・マスタープランの事務事業に対する二次評価をしていただきました。また、新・マスタープラン中期実施計画(平成30年度～平成32年度)の概要説明を実施しました。引き続き、水道事業経営審議会を開催し、意見や助言を事業運営に反映し、信頼される水道事業を目指します。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-1	戦略的な広報の実施	所管課	総務課
----	----	---------------------	--------	------	-----------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	新潟市水道局広報戦略]~広報活動の考え方~に基づき、継続的に広報計画を策定し、効果的な広報活動を展開します。					
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度		28年度		29年度	
	独自イベント ・施設見学など お客さまに直接働きかける広報 ・災害パネル展示、出前講座など デジタルメディアを活用する広報 ・ホームページなど 紙媒体による広報 ・広報紙、検針票裏面など 漫画を活用する広報 ・小学生向けパンフレット、工事看板など 浄水場見学のための施設改修、整備		独自イベント ・施設見学など お客さまに直接働きかける広報 ・災害パネル展示、出前講座など デジタルメディアを活用する広報 ・ホームページなど 紙媒体による広報 ・広報紙、検針票裏面など 漫画を活用する広報 ・小学生向けパンフレット、工事看板など 浄水場見学のための施設改修、整備		独自イベント ・施設見学、各種体験など お客さまに直接働きかける広報 ・災害パネル展示、出張授業など デジタルメディアを活用する広報 ・ホームページなど 紙媒体による広報 ・広報紙、検針票裏面など 漫画を活用する広報 ・小学生向けパンフレット、工事看板など 浄水場見学のための施設改修、整備	

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度		28年度		29年度				
	予算額(a)	39,113,701		39,343,250		39,517,000				
	執行額(b)	39,073,959		37,898,475		39,296,555				
	執行率(%) (b) / (a)	100%		96%		99.4%				
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	1920時間	1920時間		1920時間	1920時間		2880時間	2880時間	
	期間(d) (実働月数)	12カ月	12カ月	100%	12カ月	12カ月	100%	12カ月	12カ月	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (1月あたりの作業時間)	160時間	160時間	(イ/ア)	160時間	160時間	(イ/ア)	240時間	240時間	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度						
	・広報紙(水先案内)の紙面構成をこれまで以上に『読み手』を意識した内容に改めるとともに、配布方法を変更することにより、認知度を高めることができました。また、配布のための経費削減も図れました。	・水道週間行事を見直したり、他団体のイベントに積極的に参加し、水道水の魅力をアピールしました。また、お客さまアンケートで出された質問に対し、優先順位を付け広報紙で回答をすることで、お客さまの知りたい情報も提供しました。 施設見学者やイベントへの参加者が増加していることから、水道局の魅力を発信できていると考えられます。			・水道週間行事を見直したり、他団体のイベントに積極的に参加し、水道水の魅力をアピールしました。さらに、出張授業の回数を増やすなど幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。また、広報紙(水先案内)へ有料広告を掲載し、水道料金以外の収入も確保できました。			・水道週間行事の見直し等を継続的に行い、他団体のイベントにも参加するなど水道水の魅力紹介を行った。また、出張事業の回数を増やすなど幅広い年齢層への情報発信も行いました。なお、広報紙(水先案内)への有料広告掲載を継続し、水道料金以外の収入の確保も行いました。						
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	
		独自イベント		1点		独自イベント		1点		独自イベント		1点		
		防災パネルの展示、出前講座		1点		防災パネルの展示、出前講座		1点		防災パネルの展示、出前講座		1点		
		ホームページ		1点		ホームページ		1点		ホームページ		1点		
		広報紙、検針票裏面広告		1点		広報紙、検針票裏面広告		1点		広報紙、検針票裏面広告		1点		
小学生向けパンフレット		1点		小学生向けパンフレット		1点		小学生向けパンフレット		1点				
平均(A)		1.0点			平均(A)		1.0点			平均(A)		1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
お客さまアンケートにおける広報紙「水先案内」の認知度(%)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	64%	—	—	—	—	72%	113%	5点	—	—	—
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
「新潟市水道局広報戦略」に基づく効果的な広報の実施	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実施	実施	3点	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度	28年度	29年度
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算や体制については、計画的に実施され、目的は達成できました。	予算や体制については、計画的に実施され、目的は達成できました。	予算や体制については、計画的に実施され、目的は概ね達成できました。
評価結果	予算効率 3点 作業効率 3点 外的要因加点 0点	予算効率 3点 作業効率 3点 外的要因加点 0点	予算効率 3点 作業効率 3点 外的要因加点 0点
評価の観点・結果	総合評価 C 6点/10点	総合評価 C 6点/10点	総合評価 C 6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	施設見学者、イベント参加者が増加し、水道水の魅力をアピールできたと考えられるため、有効でありました。	広報紙の内容を見やすくし、配布方法も検針票と同時配布にするなど、読んでいただくための創意工夫を重ねてきました。ウォーターバーの体験者数が8,000人を超えたことやお客さまアンケートでの広報紙の認知度が前回調査(26年度)よりも向上したことなどから、これまで以上に水道の魅力をアピールできたと評価しています。	イベント参加者数の増加などから、水道水の魅力をアピールできたと評価しています。
評価結果	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点	達成度 4点 進捗度 4点 外的要因加点 0点	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点
評価の観点・結果	総合評価 C 6点/10点	総合評価 B 8点/10点	総合評価 C 6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。また、有効性評価欄へ市民からの意見、モニターの見解等判断の根拠を記載すること。	引き続き、市民の皆様にも水道事業の理解を深めていただくためにも、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-2	お客さまの意見・要望の把握	所管課	総務課
----	----	---------------------	--------	------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	本市水道事業における基本理念である「すべてのお客さまに信頼される水道」を実現するためには、お客さまが水道事業に求めるものを的確に把握して施策に反映させるなど、お客さまの視点に立った事業運営に努める必要があります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施し、お客さまの意見、要望等を直接、継続的に聴取します。	お客さまアンケートの実施 ・お客さまアンケートを継続実施することにより、お客さまの水道事業に対する意見、要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施し、お客さまの意見、要望等を直接、継続的に聴取します。	お客さまアンケートの実施 ・事業者向けアンケートを実施することにより、水道事業に対する意見、要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 水道モニター制度運用 ・水道モニター制度を継続実施し、お客さまの意見、要望等を直接、継続的に聴取します。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	468,762			1,871,725			1,086,835		
	執行額(b)	288,363			1,381,469			822,867		
	執行率(%) (b)/(a)	62%			74%			76%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間	100%	120時間	120時間	100%	180時間	180時間	100%
	期間(d) (実働月数)	12カ月	12カ月		12カ月	12カ月		12カ月	12カ月	
	単位あたり の作業量(c/d)	10時間	10時間	(イ/ア)	10時間	10時間	(イ/ア)	15時間	15時間	(イ/ア)
(1月あたりの作業時間)	(ア)	(イ)	(ア)		(イ)	(ア)		(イ)		

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・アンケート回収率の向上を図るため、締切の1週間前に回答への御礼と再度の案内を兼ねたハガキを発送しました。 ・水道モニターについては、天候により変更を余儀なくされたプログラムもありましたが、概ね計画通り実施することができました。	公募による22名の水道モニターで研修会や施設見学など計5回開催しました。予定していたメニューはすべて消化でき、内容もグループ討議手法も取り入れるなどの工夫をしながら実施しました。			・公募により24名の水道モニターでスタートしましたが、途中で辞退された方もおり最終的に23名となりました。研修会や施設見学など計4回開催しました。予定していたメニューはすべて消化でき、内容もグループ討議手法も取り入れるなどの工夫をしながら実施しました。 ・お客さまアンケートについては、2,966件送付(3,000件送付、未着が34件)し、1,503件回収することができました。(回収率50.7%)アンケート結果については、経営審議会で報告審査していただき、事業運営の参考とすることができました。			・公募による23名の水道モニター(終了時18名)による研修会や施設見学など計4回開催しました。予定したメニューは消化し、内容としては、活発な意見交換が期待できるグループ討議を行うなどしました。 ・事業者向けアンケートについては、955件送付(1,000件送付、未着が45件)し、455件(回収率46.6%)を回答を得ました。アンケート結果については、事業運営の参考としています。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	水道モニター制度運用		1点		水道モニター制度運用		1点		水道モニター制度運用		1点	
					お客さまアンケートの実施		1点		お客さま(事業者向け)アンケートの実施		1点	
	平均(A)			平均(A)			平均(A)					
	1.0点			1.0点			1.0点					

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
お客さまアンケートの 実施(件) H28:一般家庭対象 H29:事務所対象	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	—	実施	実施	—	—	—	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	—	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
水道モニター活動回数 (回) (モニター会議、施設見 学会等開催数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	5回	5回	5回	5回	100%	3点	4回	80%	2点	4回	80%	2点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算より少ない執行額で予定のメニューをこなせたことで、効率的に実施できました。			予算より少ない執行額でメニューをこなせたことで、効率的に実施できました。 ・お客さまアンケートについては、郵便未着があったもののほぼ予定通りの件数にアンケートを届けることができました。 ・水道モニターについては、従来下水道事業の説明を取りやめたことで4回の開催となりました。			予算より少ない執行額で予定のメニューをこなせたことで、効率的に実施できました。		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	予定通りにプログラムを遂行できたことで、水道事業について理解を得ることができました。			予定通りにプログラムを遂行できたことで、水道事業について水道モニターから理解を得ることができました。			予定通りにプログラムを遂行できたことで、水道事業について水道モニターから理解を得ることができました。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、幅広い意見・要望を効率的かつ的確に把握できるよう、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-3	分かりやすい経営情報の開示	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	---------------	-----	-------

①事業概要			
【事業の目的】		これからの水道事業に要する費用負担のあり方や経営の効率化に対する取組みなどについて、分かりやすくお客さまにお知らせし、水道事業経営の透明性の向上を図ります。	
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取り組み情報の提供	・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取り組み情報の提供	・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 ・経営効率化に関する取り組み情報の提供

②過程										
【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	128.8時間	128.8時間		128.8時間	114.0時間		114.0時間	114.0時間	
	人員(d) 作業従事職員数	6人	6人	100%	6人	6人	88%	5人	5人	100%
	単位あたり の作業量(c/d)	21.5時間	21.5時間		21.5時間	19.0時間		22.8時間	22.8時間	
	(1人あたりの作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価												
■結果・効果												
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	平成25年度分の事務事業評価を実施し、評価結果をホームページに掲載しました。 業務指標を局ホームページに公表したほか、供給単価と給水原価の政令市比較を行いました。また、決算概要などを分かりやすく広報紙「水先案内」に掲載しました。 水道事業中長期経営計画の施策目標ごとに関連付けた業務指標の成果について、局ホームページに公表のほか、行革プラン2013の取組結果を市ホームページに掲載しました。	・「水道料金について」、「他都市料金比較」及び「決算概要」を広報紙「水先案内」に掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び平成26年度事務事業評価の結果をホームページで公表しました。また、総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、平成26年度水道事業会計決算の経営比較分析表を新たに、ホームページで公表しました。			・「他都市料金比較」、「料金収入」及び「決算概要」を広報紙「水先案内」に掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び平成27年度事務事業評価の結果をホームページで公表しました。また、総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、平成27年度水道事業会計決算の経営比較分析表を、ホームページで公表しました。			・「他都市料金比較」、「料金収入」及び「決算概要」を広報紙「水先案内」に掲載しました。 ・水道事業ガイドライン業務指標及び平成28年度事務事業評価の結果をホームページで公表しました。また、総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」に基づき、平成28年度水道事業会計決算の経営比較分析表を、ホームページで公表しました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供		1点		料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供		1点		料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供		1点	
	経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点		経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点		経営効率化に関する取り組み情報の提供		1点	
	平均(A)		1.0点		平均(A)		1.0点		平均(A)		1.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供 (ホームページおよび水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上(2回)		100%	3点	1回/年以上(2回)		100%	3点	1回/年以上(2回)		100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			
経営効率化に関する取り組み情報の提供 (ホームページおよび水先案内に掲載)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上	1回/年以上(2回)		100%	3点	1回/年以上(2回)		100%	3点	1回/年以上(2回)		100%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)	実績累計(E)		進捗度(E/C)			
	—	—	—	—		—	3点	—		—	3点	—		—	3点
	—	—	—	—		—	3点	—		—	3点	—		—	3点
	—	—	—	—		—	3点	—		—	3点	—		—	3点
	—	—	—	—		—	3点	—		—	3点	—		—	3点

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	料金設定の仕組みおよびコスト情報、経営効率化に関する取り組み情報の提供を予定どおり行いました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			料金設定の仕組みおよびコスト情報、経営効率化に関する取り組み情報の提供を予定どおり行い、水先案内作成に係る人員が1名削減となったことから、作業効率が向上しました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			料金設定の仕組みおよびコスト情報、経営効率化に関する取り組み情報の提供を予定どおり行いました。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供、経営効率化に関する取り組み情報の提供について、イラストや図表、分かりやすい内容で広報誌「水先案内」、ホームページで提供しました。引き続き分かりやすい内容となるよう努めていきます。			料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供、経営効率化に関する取り組み情報の提供について、イラストや図表、分かりやすい内容で広報誌「水先案内」、ホームページで提供しました。引き続き分かりやすい内容となるよう努めていきます。			料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供、経営効率化に関する取り組み情報の提供について、イラストや図表、分かりやすい内容で広報誌「水先案内」、ホームページで提供しました。引き続き分かりやすい内容となるよう努めていきます。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	事業・取組名	VI-4	放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	所管課	経営管理課
----	----	---------------------	--------	------	-------------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	放射性物質を含む浄水汚泥について、厳重な保管・管理を徹底するとともに、水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度の検査結果、浄水場等における放射線量などについて、お客さまに対し情報提供を行います。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	保管管理、検査、有効利用、情報提供 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用の継続 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果、情報提供の継続 ・200Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望の継続	保管管理、検査、有効利用、情報提供 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用の継続 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果、情報提供の継続 ・200Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望の継続	保管管理、検査、有効利用、情報提供 ・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効利用の継続 ・水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量などの検査の継続 ・ホームページ等による検査結果、情報提供の継続 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分について、国・県への積極的な要望の継続

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	449,949,308			404,181,000			333,700,000		
	執行額(b)	285,179,223			232,388,941			308,595,058		
	執行率(%) (b) / (a)	63%			57%			92.5%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	753	753	100%	753	558	80%	558	627.5	92%
	時間(h)									
	人員(d)	55人	55人		55人	51人		51人	62人	
	作業従事職員数									
単位あたりの作業量(c/d)	13.7	13.7		13.7	10.9		10.9	10.1		
h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	-	・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理を行いました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効活用及び水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量の検査を継続して行いました。また、調査した検査結果は、ホームページ等で情報提供を行いました。 ・200Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分については、環境省及び新潟県に日水協新潟県支部として要望書の提出を行いました。			・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理を行いました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効活用及び水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量の検査を継続して行いました。また、調査した検査結果は、ホームページ等で情報提供を行いました。 ・200Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分については、環境省及び新潟県に日水協新潟県支部として要望書の提出を行いました。 ・今年度は、8,000Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の処理について、県外搬出処分も視野に入れた検討を行いました。			・放射性物質を含む浄水汚泥の厳重な保管・管理を行いました。 ・200Bq/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥の有効活用及び水道水・河川水・浄水汚泥の放射性物質濃度、浄水場周辺の放射線量の検査を継続して行いました。また、調査した検査結果は、ホームページ等で情報提供を行いました。 ・継続保管している8,000Bq/kg以下の浄水汚泥の一部について、有効利用を行いました。 ・8,000Bq/kgを超える放射性物質を含む浄水汚泥の処分については、環境省及び新潟県に日水協新潟県支部として要望書の提出を行いました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		保管管理、検査、有効利用、情報提供	1点			保管管理、検査、有効利用、情報提供	1点			保管管理、検査、有効利用、情報提供	1点	
	平均(A)		1.0点		平均(A)	1点		平均(A)				

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	開示	開示	開示	実施	実施	3点	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
放射性物質濃度の分析調査結果の情報開示の継続	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	開示	開示	開示	実施	実施	3点	実施	実施	3点	実施	実施	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 予算の執行率は、放射能検査業務の予定検体数、予定検査数が減少したことに加え、汚泥処分量が減少したことにより、予定以下となりました。 事業取組は、予定通り行われました。 			<ul style="list-style-type: none"> 放射能検査業務の予定検体数、予定検査数が減少したことに加え、汚泥処分量が減少したことにより、予算効率・作業効率は予定枠内となり目標を達成しています。 事業取組は、予定通り行われました。 			<ul style="list-style-type: none"> 放射能検査業務の予定検体数、予定検査数が減少したことに加え、汚泥処分量が減少したことにより、予算効率・作業効率は予定枠内となり目標を達成しています。 事業取組は、予定通り行われました。 		
評価結果	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	B	作業効率	4点	B	作業効率	3点	C
	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 汚泥保管施設における放射線量測定結果及び放射性物質濃度の分析調査結果については、適切に情報開示を行いました。 			<ul style="list-style-type: none"> 汚泥保管施設における放射線量測定結果及び放射性物質濃度の分析調査結果については、適切に情報開示を行いました。 			<ul style="list-style-type: none"> 汚泥保管施設における放射線量測定結果及び放射性物質濃度の分析調査結果については、適切に情報開示を行いました。 		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	放射性物質を含む浄水汚泥の情報は、市民の関心も高いと思われる。引き続き、適正な管理と情報提供を実施すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VII	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	VII-1	人材育成と専門性の強化	所管課	総務課
----	-----	-------------------	--------	-------	-------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	水道事業は専門性が高いために継承すべき技術が多く、施設整備計画の策定、設計施工管理、危機管理および現場対応力など、これらはいずれも高度な知識と経験が求められます。事業の持続のためには、専門知識と実務経験を併せ持つ職員の確保と育成が重要となります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。	技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。	技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転 ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。
	各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直ししながら充実に図ります。	各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直ししながら充実に図ります。	各種研修の実施 ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施し、研修計画を適宜、見直ししながら充実に図ります。
	水道研修センターの運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。	水道研修センターの運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。	水道研修センターの運用 ・水道研修センターの効果的運用を図ります。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	3,660,160			3,403,800			3,442,800		
	執行額(b)	3,358,015			3,041,411			2,167,962		
	執行率(%) (b) / (a)	92%			89%			63.0%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	1900時間	1900時間		1900時間	1900時間		1900時間	1900時間	
	人員(d)	1人	1人	100%	1人	1人	100%	1人	1人	100%
	作業従事職員数									
	単位あたりの 作業量(c/d)	1900時間	1900時間		1900時間	1900時間		1900時間	1900時間	
(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度		
	・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、民間企業等経験者を対象とした採用試験を実施し、人材の確保に努めました。	・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、民間企業等経験者を対象とした採用試験を実施し、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員(技術職)のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。			・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、民間企業等経験者を対象とした採用試験を実施し、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員(技術職)のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。			・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続するとともに、民間企業等経験者を対象とした採用試験を実施し、人材の確保に努めました。 ・新規採用職員(技術職)のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。		
	・新規採用職員(技術職)のジョブローテーションの指針に従った教育配転を行いました。	・水道研修センターの運用に関しては、会議での利用等、研修以外の目的でも促進を図ったことで効率的な運用が図れました。			・職員研修基本計画の見直しを行い、実態にあった計画としました。			・職員研修基本計画に乗取った研修を行いました。		
	・「技術研修計画」に基づく研修を確実に実施するとともに、研修計画を見直し、研修の充実に努めました。				・水道研修センターについては、計画的に実施する局内部研修・講師招聘研修の会場として活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内Off-JTの会場として活用したことにより、効果的な運用をすることができました。			・水道研修センターについては、計画的に実施する局内部研修・講師招聘研修の会場として活用したほか、積極的な実施を推奨している職場内Off-JTの会場としても活用しました。		
	・職員研修はもとより、「配水管工技能講習会」や「給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会」等、外部の技術者育成の場として活用しました。	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転		1点		技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転		1点		技術系新規採用職員の独自採用, 教育配転	
各種研修の実施		1点		各種研修の実施		1点		各種研修の実施		1点
水道研修センターの運用		1点		水道研修センターの運用		1点		水道研修センターの運用		1点
平均(A)		1.0点		平均(A)		1.0点		平均(A)		1.0点

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)			
年間内部研修実施時間(時間) (延べ年間研修時間/年度末職員数)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点			
	14.6時間	15.2時間	15.8時間	16.1時間	110%	4点	15.6時間	103%	4点	16.0時間	101%	4点			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		
	—	—	—	—	—	4点	—	—	4点	—	—	4点	—	—	4点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点			
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)				

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	予算より少ない執行額で予定の研修を実施できたことから、効率的に実施できました。			予算より少ない執行額で予定の研修を実施できたことから、効率的に実施できました。			予算より少ない執行額で予定の研修を実施できたことから、効率的に実施できました。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	B	作業効率	3点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	7点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・民間経験者も含め、新規採用職員の独自採用を継続実施することにより、組織の年齢構成上、今後の技術継承に資する人員体制を確保することができました。 ・利用促進を図ったことで水道研修センターの稼働率も上がり有効でありました。(施設稼働率89.6%, うち研修での稼働率43.2%)			・研修基本計画を見直し、職場内Off-JTを積極的に行うよう各所属へことあるごとに呼びかけた結果、目標を上回る研修時間を確保できました。			・職場内Off-JTを積極的に推奨し、目標値を上回る研修時間を確保できました。		
評価結果	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	4点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B	進捗度	4点	B
	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、技術継承にあたっては、再任用職員の活用も有効である。	水道技術の継承が問題化する中、技術職の独自採用や民間企業経験者の採用と人材確保への努力は有効である。引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、優れた人材の確保に努め、職員の能力向上のための継続的な教育を実施すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	VII	技術・知識を有する人材の確保と育成	事業・取組名	VII-2	諸外国との水道技術研究交流	所管課	総務課
-----	-----	-------------------	--------	-------	---------------	-----	-----

①事業概要

【事業の目的】	我が国の水道事業は高度な技術のもと管理・運営されており、世界のトップランナーとして国際的にも高い評価を得ていることから、その技術・経験を国際貢献・国際協力に生かすことが期待されています。本市においても、水道技術の国際交流を通じた中で、国際的な視野と見識を持った人材の育成を図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 ・国際会議等へ積極的に職員を派遣します。 ・日米台水道地震対策ワークショップへの参加 ・水道技術国際シンポジウム等への参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加	28年度 ・国際会議等へ積極的に職員を派遣します。 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 (水道技術国際シンポジウム：3年に1回開催、次回は30年度) (日米台水道地震対策ワークショップ：2年に1回開催、次回は29年度)	29年度 ・国際会議等へ積極的に職員を派遣します。 ・日米台水道地震対策ワークショップへの参加 ・自治体水道国際展開プラットフォームへの参加 (水道技術国際シンポジウム：3年に1回開催、次回は30年度)

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	373,390			45,921			263,782		
	執行額(b)	633,150			46,780			242,596		
	執行率(%) (b)/(a)	170%			102%			92.0%		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	9時間	9時間	100%	3時間	3時間	100%	6時間	9時間	150%
	人員(d) 作業従事職員数	1人	1人		1人	1人		1人		
	単位あたり の作業量(c/d)	9時間	9時間	(イ/ア)	3時間	3時間	(イ/ア)	6時間	9時間	(イ/ア)
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	・国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例等の情報収集を行いました。 ・東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォーム第6回会議に2名参加(H27.1)	・国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例等の情報収集を行いました。 ・仙台市で開催された日米台水道地震対策ワークショップに2名参加(H27.10) ・神戸市で開催された水道技術国際シンポジウム等に3名参加(H27.7) ・東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォーム第7回会議に2名参加(H28.1)			・国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォーム第8回会議に2名参加(H29.1)			・国際会議等に積極的に職員を派遣し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・台南市で開催された日米台水道地震対策ワークショップに1名参加(H29.10) ・東京都で開催された自治体水道国際展開プラットフォーム第9回会議に1名参加(H30.1) ・オーストラリアで開催された日本水道協会国際研修に1名参加(H30.2~3)				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		日米台水道地震対策ワークショップ参加	1点		自治体水道国際展開プラットフォームへの参加	1点				日米台水道地震対策ワークショップ参加	1点	
		水道技術国際シンポジウム等への参加	1点							自治体水道国際展開プラットフォームへの参加	1点	
		自治体水道国際展開プラットフォームへの参加	1点							日本水道協会国際研修への参加	3点	
	平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点			平均(A)	1.0点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
国際研修等への参加人数 (人)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	2人	2人	2人	7人	350%	5点	2人	100%	3点	3人	150%	5点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	2人	4人	6人	7人	350%	5点	9人	225%	5点	12人	200%	5点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度(D/B)	
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・国際会議への参加を通じて、先進都市の諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。			・先進都市との情報交換の機会を得て、諸外国への貢献事例等の最新情報を収集することができました。			・国際会議への参加に加え、諸外国への派遣を行うことにより、国際的な視野を広げるとともに、当局の状況を省みる機会とすることが出来ました。 ・日水協研修(費用負担は日水協)の活用により、当局の負担を軽減することが出来ました。		
評価結果	予算効率	2点	総合評価	予算効率	2点	総合評価	予算効率	3点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	2点	C
	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	海外へ事業展開する際の課題や方向性等について、派遣者は当然のこと、派遣者を通じて当該情報の共有化を図ることにより、国際的視野を持った人材の育成につなげていくことができました。			会議での報告内容や、参加者間での意見交換を通じて、先進都市における実例や課題や方向性等について、派遣者を通じて当該情報の共有化を図ることができたほか、諸外国への職員派遣により、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。			会議での報告内容や、参加者間での意見交換を通じて、先進都市における実例や課題や方向性等について、派遣者を通じて当該情報の共有化を図ることができたほか、諸外国への職員派遣により、国際的視野及び知識を持った人材の育成につなげていくことができました。		
評価結果	達成度	5点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度	5点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	5点	A	進捗度	5点	B	進捗度	5点	A
	外的要因加点	0点	10点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	点	10点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	大切な水環境は世界的な問題であることも認識し、情報収集に努めるとともに、新潟市水道局としての技術を生かすことを含め、引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、国内外の各種学術・技術交流活動では、できるだけ多くの職員が対象となるよう配慮すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施 策	VIII	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	VIII-1	建設副産物の再利用促進	所管課	技術管理室
-----	------	-------------	--------	--------	-------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	建設副産物の再利用により、CO2排出量の削減や省エネルギー化を図り、環境保全への社会的責任を果たします。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度	28年度	29年度
	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進める。再生土を利用した工事の発注を継続して実施する。	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進める。再生土を利用した工事の発注を継続して実施すると共に、再利用箇所の精査を行い、率の向上に繋げる。	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化することを継続します。 ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を進めます。再生土を利用した工事の発注を継続して実施すると共に、再利用箇所の精査を行い、率の向上に繋がります。

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b) / (a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c) (実働時間)	10時間	10時間		10時間	10時間		10時間	10時間	
	期間(d) (作業従事職員数)	2人	2人	100%	2人	2人	100%	2人	2人	100%
	単位あたり の作業量(c/d) (1人あたりの年間の作業時間)	5時間	5時間	(イ/ア)	5時間	5時間	(イ/ア)	5時間	5時間	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土を改良し、埋戻し材としての再利用を行いました。再生土を利用した工事の発注を行いました。(再生率19.6%)	改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土は改良し、再利用を行いました。その結果、昨年度より若干再生率は低下しましたが、予想どおり推移しました。(再生率16.9%)			改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土は改良し、再利用を行いました。その結果、昨年度より若干再生率は上昇し、予想どおり推移しました。(再生率17.4%) 今後も、この数値で推移していくものと思われます。			改良土の利用促進 ・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・建設発生土について、埋戻しに適さない発生土は再生プラントへの搬入が可能であれば改良し、再利用しました。その結果、昨年度より若干再生率は上昇し、予想どおり推移しました。(再生率18.5%) 今後も、この数値で推移していくものと思われます。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
	改良土の利用促進		1点		改良土の利用促進		1点		改良土の利用促進	2点		
	平均(A)		1.0点		平均(A)		1.0点		平均(A)		2.0点	

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)	実績(D)		達成度(D/B)
建設副産物の リサイクル率	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	39.2%	37.7%	37.9%	37.70%	96%	3点	37.90%	101%	4点	37.50%	99%	3点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	—	—	—	—	—	3点	—	—	4点	—	—	3点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	設計積算の改定において、条件によっては改良土使用単価が山砂使用単価より安価のケースが発生するため、今後も再生土使用を進めます。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			工事箇所の条件によっては、改良土使用単価が山砂使用単価より安価のケースが発生するため、今後も再生土使用を進めます。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。			建設副産物全体のリサイクル率を向上させるため、今後も改良土の利用を促進していきます。また、事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでした。		
評価結果	予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	4点	総合評価
評価の観点・結果	作業効率	3点	C	作業効率	3点	C	作業効率	4点	B
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	昨年度と同じく幹線・支管更新工事エリアが、地質条件不良と地下埋設物が輻射している市内中心部にシフトしてきた事により、再生土利用する工事の発注件数が減少しています。また、再生プラントへの再生土搬入ができない夜間工事が増加傾向にあるため、再生土利用が難しい状況です。			近年、幹線・支管更新工事エリアが市内中心部にシフトしてきた事により、渋滞等の発生を抑制するため、道路管理者及び警察の指示により夜間工事が増加しています。そのため、再生プラントへの再生土搬入が出来ず、再生土を利用する工事の発注件数が減少して、再生土利用が難しい状況です。			改良土を使用する幹線更新工事が、市内中心部に集中してきた事により、渋滞等の発生を抑制するため、夜間工事が増加しています。そのため、再生プラントへの発生土搬入が出来ず、改良土を利用する工事が減少して、改良土の利用促進が進まない状況ですが、アスファルト廃材とコンクリート廃材については今後も100%の再利用を行います。		
評価結果	達成度	3点	総合評価	達成度	4点	総合評価	達成度	3点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	3点	C	進捗度	4点	B	進捗度	3点	C
	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点	0点	6点/10点

④2次評価結果

【方向性】	維持	維持	維持
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	VIII	環境に配慮した事業運営	事業・取組名	VIII-2	水道局環境計画の策定と推進	所管課	経営管理課
----	------	-------------	--------	--------	---------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	水道局として環境負荷の少ない水作りを推進するため、「水道局環境計画」を策定するとともに、環境負荷低減に向けた取り組みを推進していきます。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	27年度 ・水道局環境計画の策定・運用 計画の策定 ・環境会計の作成・公表 作成および公表 ・省エネルギー対策の推進 浄水場施設整備に併せた省エネ設備への切り替え	28年度 ・水道局環境計画の運用 計画の運用 ・環境会計の作成・公表 作成および公表 ・省エネルギー対策の推進 浄水場施設整備に併せた省エネ設備への切り替え	29年度 ・水道局環境計画の運用 計画の運用 ・環境報告書の作成・公表 作成および公表 ・省エネルギー対策の推進 浄水場施設整備に併せた省エネ設備への切り替え

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらい かけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	0			0			0		
	執行額(b)	0			0			0		
	執行率(%) (b)/(a)	-			-			-		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)は どれくらい かけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	118.4	118.4	100%	29.6	29.6	100%	74	74	100%
	時間(h)									
	人員(d)	2人	2人		4人	4人		2人	2人	
	作業従事職員数									
単位あたりの 作業量(c/d)	59.2	59.2		7.4	7.4		37	37		
h/人	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度			29年度				
	環境会計について、平成27年度は、26年度決算版を作成し、ホームページ等で公表した。	・省エネルギー対策の推進として、新潟市水道局環境計画の策定を行うとともに、満願寺浄水場の天日乾燥床整備事業に着手しました。 ・環境会計を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。			・省エネルギー対策の推進として、新潟市水道局環境計画に基づき、戸頭浄水場へのLED照明の導入を行い、満願寺浄水場の天日乾燥床整備事業についても完了しました。 ・環境会計を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。			・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表するなど、環境施策の情報提供を行いました。 ・阿賀野川浄水場整備事業でLED照明の導入を行いました。				
		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		・水道局環境計画の策定・運用	1点		・水道局環境計画の運用	1点			・水道局環境計画の運用	1点		
		・環境会計の作成・公表	1点		・環境会計の作成・公表	1点			・環境報告書の作成・公表	1点		
	・省エネルギー対策の推進	1点		・省エネルギー対策の推進	1点			・省エネルギー対策の推進	1点			
	平均(A)	1点			平均(A)	1点			平均(A)	0.7点		

新・マスタープラン事業評価管理シート

目標設定項目 (評価指標)	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
水道局環境計画の 策定・運用	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
環境会計の 作成・公表	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点

■評価結果

所管評価	27年度	28年度	29年度
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたので、予算の執行率は、予定通りとみなして評価しました。 ・事業取組としては、環境計画の策定や環境会計の作成・公表、省エネルギー対策を予定通り実施しました。	・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたので、予算の執行率は、予定通りとみなして評価しました。 ・事業取組としては、環境計画の運用や環境会計の作成・公表、省エネルギー対策を予定通り実施しました。	・事業の性質上、予算計上及び執行はありませんでしたので、予算の執行率は、予定通りとみなして評価しました。 ・事業取組としては、環境計画の運用や環境報告書の作成・公表を予定通り実施しました。
評価結果	予算効率 3点 作業効率 3点 外的要因加点 0点	予算効率 3点 作業効率 3点 外的要因加点 0点	予算効率 3点 作業効率 3点 外的要因加点 0点
評価の観点・結果	総合評価 C 6点/10点	総合評価 C 6点/10点	総合評価 C 6点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	・環境負荷を軽減するために、水道局環境計画を策定しました。今後、この計画に基づいて、環境配慮に関する取り組みを実施していきます。 ・環境会計の策定、公表を行い、環境施策と効果について、市民に情報提供を行いました。 また、進捗度は、事業の性質上評価ができませんでした。	・平成27年度に水道局環境計画を策定し、平成28年度より運用を開始しています。 ・環境会計の策定、公表を行い、環境施策と効果について、市民に情報提供を行いました。 また、進捗度は、事業の性質上評価ができませんでした。	・環境報告書の策定、公表を行い、環境施策と効果について、市民に情報提供を行いました。 また、進捗度は、事業の性質上評価ができませんでした。
評価結果	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点	達成度 3点 進捗度 3点 外的要因加点 0点
評価の観点・結果	総合評価 C 6点/10点	総合評価 C 6点/10点	総合評価 C 6点/10点

④2次評価結果

	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評	維持 経営審議会総評
【方向性】	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。